

# 令和3年度「まちかどコメンテーター」 アンケート調査結果

## 鹿児島市

### ・第5回

- 1 健康づくりについて（保健政策課）
- 2 選挙について（選挙管理委員会事務局）



## 目 次

I	調査の概要 .....	1
II	健康づくりについて.....	4
III	選挙について.....	18



# I 調査の概要

## 1. まちかどコメンテーターの概要

### (1) まちかどコメンテーターとは

市民の皆様「まちかどコメンテーター」になってもらい、市民目線の意見・提言を聴取するとともに、市民のニーズを把握し、市政運営の参考とさせていただくものです。

また、アンケートを通じて、市民の皆様の市政への関心・興味を深めていただくことも目的としています。

### (2) まちかどコメンテーターの選定方法

市内に住むか通勤・通学する 18 歳以上の方を対象とし、一般公募及び住民基本台帳から無作為抽出した市民 2,500 人への就任依頼において、応募・承諾いただいた方により構成しています。

### (3) 任期

令和 3 年 7 月 1 日～令和 4 年 6 月 30 日

### (4) 人数

328 人（第 5 回調査実施時点）

### (5) 所管課

市民局 市民文化部 市民協働課

## 2. 第5回調査の概要

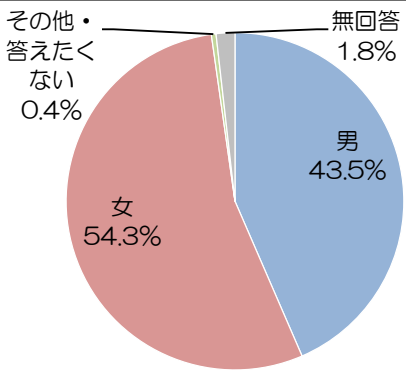
### (1) 調査概要

テーマ/担当課	健康づくりについて 選挙について	保健政策課 選挙管理委員会事務局
調査期間	令和4年1月7日～1月28日	
回答率	68.0% (223人)	

### (2) 回答者属性

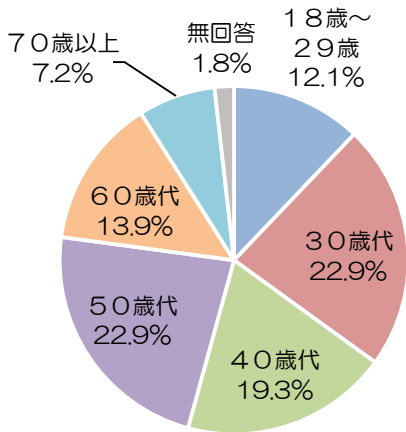
#### ① 性別

選択肢	回答数	割合
男	97	43.5%
女	121	54.3%
その他・答えたくない	1	0.4%
無回答	4	1.8%
サンプル数	223	100.0%

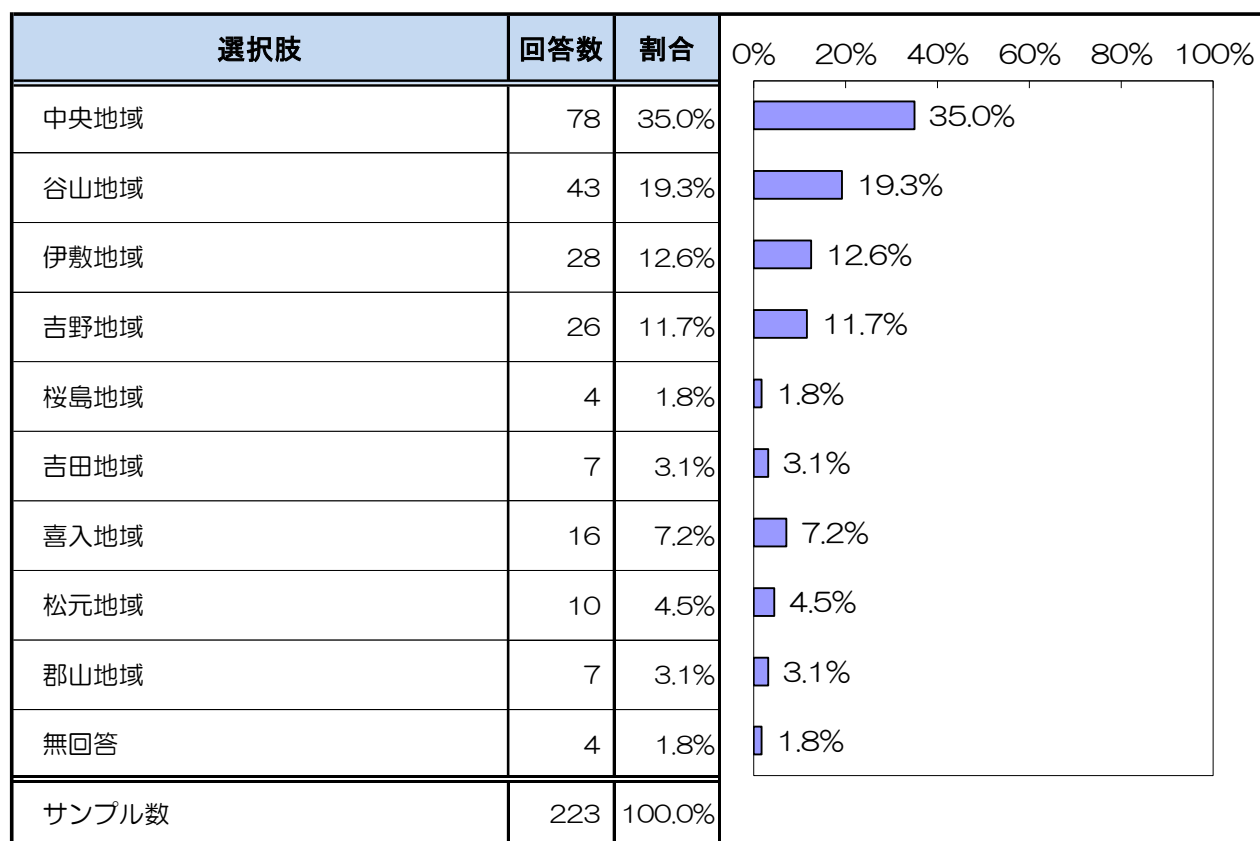


#### ② 年代

選択肢	回答数	割合
18歳～29歳	27	12.1%
30歳代	51	22.9%
40歳代	43	19.3%
50歳代	51	22.9%
60歳代	31	13.9%
70歳以上	16	7.2%
無回答	4	1.8%
サンプル数	223	100.0%



### ③ 居住地



## 3. 報告書上の留意点

- ・ 構成比は小数点第2位以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。
- ・ 複数回答可の質問の構成比の合計は100%を超えることがあります。
- ・ 設問文や選択肢等の表記において、原文より変更している場合があります。

## Ⅱ 健康づくりについて

### 1. 調査の目的

本市では、子どもから高齢者まですべての市民が「共に支え合い、すこやかで心豊かに生活できる鹿児島市の実現」を目指し、健康づくりの指針となる、第二次鹿児島市健康増進計画「かごしま市民すこやかプラン」（計画期間：平成25年度から令和5年度）に基づき、市民の健康づくりを推進しています。

平成29年度には、設定した目標の達成状況や、これまでの取組み・課題等について検証を行い、中間評価を行いました。また、令和5年度には、現計画の最終評価及び次期健康増進計画の策定を行います。

最終評価に向けたプレアンケートを実施しますので、ご協力をお願いいたします。

### 2. 調査結果を受けて担当課（保健政策課）からのコメント

スマートフォンなどで歩数を確認できる方62.8%のうち、4000歩～5999歩の方が24.3%と最も多く、次いで2000歩～3999歩の方が23.6%で、目標の5500歩～7800歩にはまだ達していない状況でした。

また、喫煙率は11.7%で、目標の12%に達していますが、過去1か月以内に受動喫煙を経験したことがある方は46.2%となっており、中でも路上で受動喫煙を受けた方が62.1%いました。改正健康増進法が施行され2年が経過しますが、周囲の方への配慮義務に対する認知が不十分な状況です。

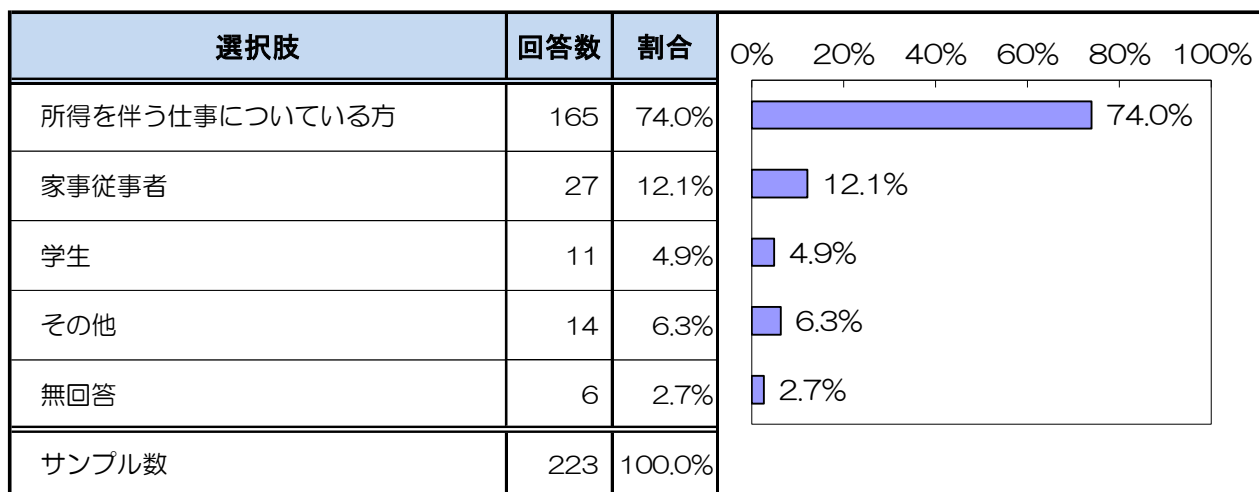
運動の効果や喫煙が体に及ぼす影響など、健康づくりのために必要な情報発信に努めるとともに、受動喫煙防止のための周囲の方への配慮義務についても更なる周知に努めてまいります。



### 3. 調査結果

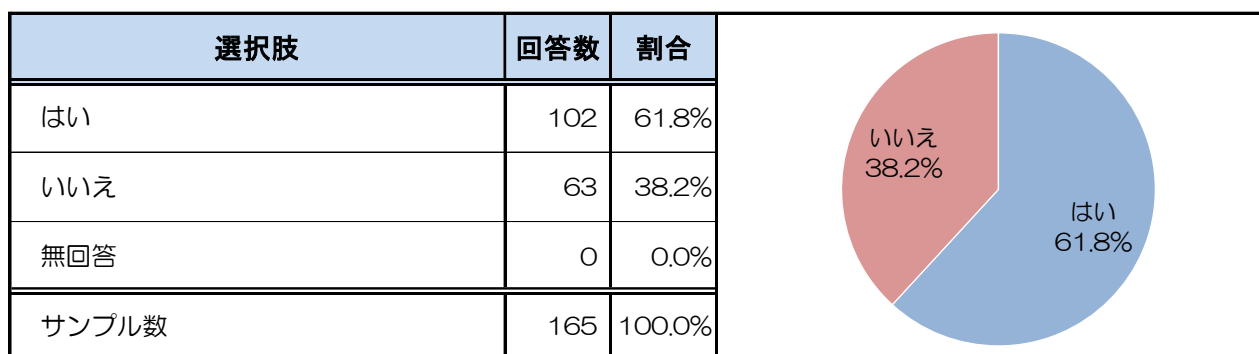
問1 あなたの職業について、下記の中で主たるものをお答えください。  
(単一回答)

「所得を伴う仕事についている方」が74.0%と最も高く、次いで、「家事従事者」の12.1%、「その他」の6.3%の順となっています。



問2 問1で「1. 所得を伴う仕事についている方」とお答えした方にお伺いします。あなたの職場では、健康づくりに取り組んでいますか。  
(単一回答)

「はい」が61.8%、「いいえ」が38.2%となっています。

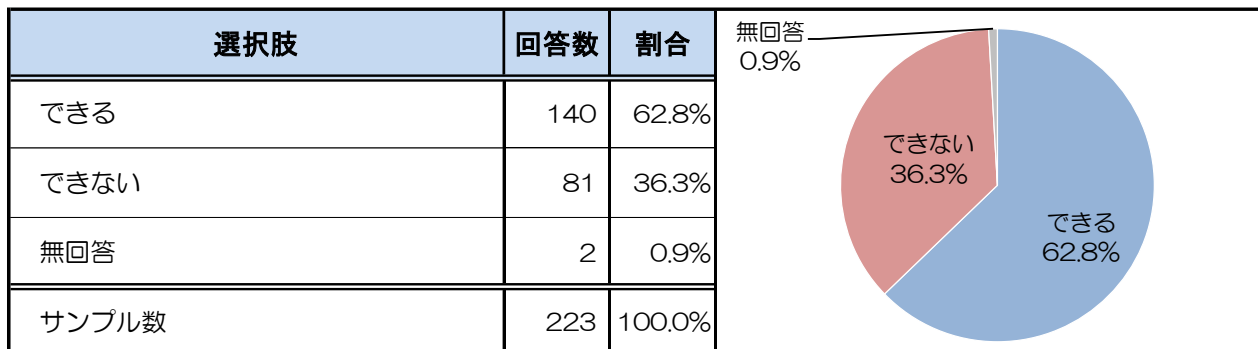


◆「1. はい」と回答した方の具体的な取組

具体的な取組	件数
・健康診断等	90件
・ラジオ体操などの体操	25件
・健康相談や指導	6件
・ストレスチェック	5件
・インフルエンザワクチン接種	4件
・職場検診	3件
・がん検診	3件
・サークル活動	2件
・研修会	2件
・HPH (Health Promoting Hospitals & Health Services)	1件
・ウォーキングラリー	1件
・コミュニティのボランティア参加	1件
・スイミング	1件
・スポーツクラブの法人会員	1件
・スポーツ推進	1件
・フェムラインかごしま	1件
・階段利用	1件
・健康づくりに関する情報回覧	1件
・健康に関する啓発、注意喚起、日頃の健康管理注意・喚起	1件
・健康診断アプリを利用した歩数イベント	1件
・健康づくりのための施設利用に対する助成	1件
・健康だより発出	1件
・再検査受診の追跡調査	1件
・歯科検診	1件
・終業時間内禁煙	1件
・職場内のトレーニングルームの使用	1件
・地域での健康なまちづくりの推進	1件
・福利厚生で衛生用品の配布	1件
・見聞きした情報の共有	1件

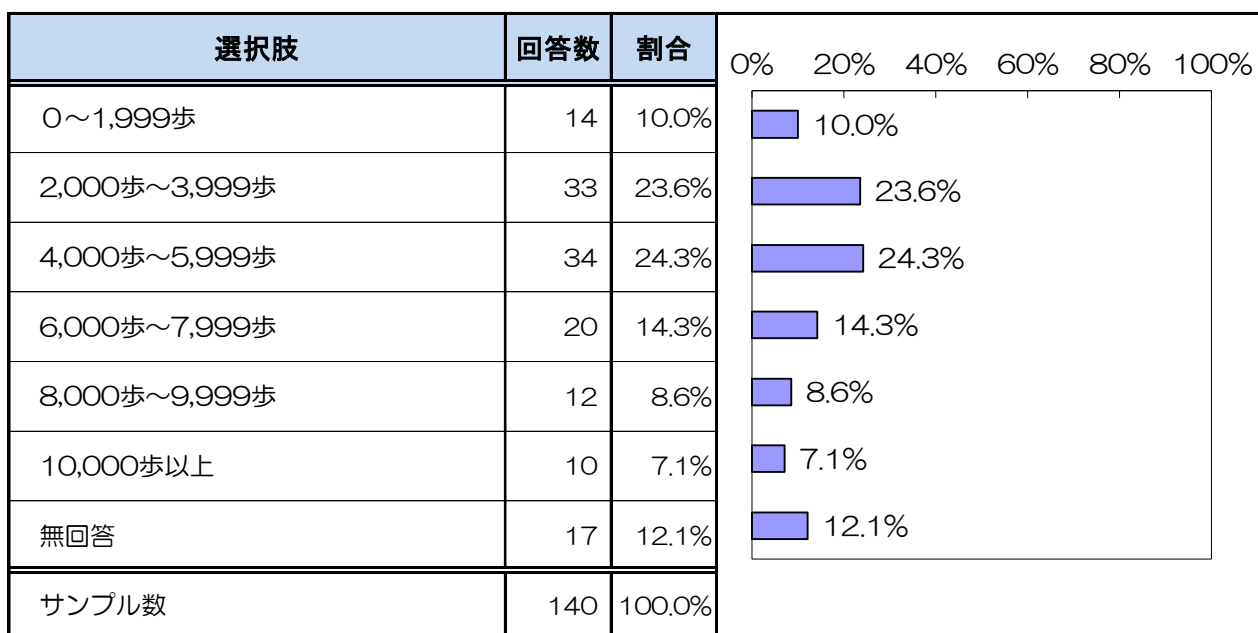
問3 歩数計や、歩数がカウントできる携帯電話、スマートフォンなどで一日の歩数を確認することはできますか。(単一回答)

「できる」が62.8%、「できない」が36.3%となっています。



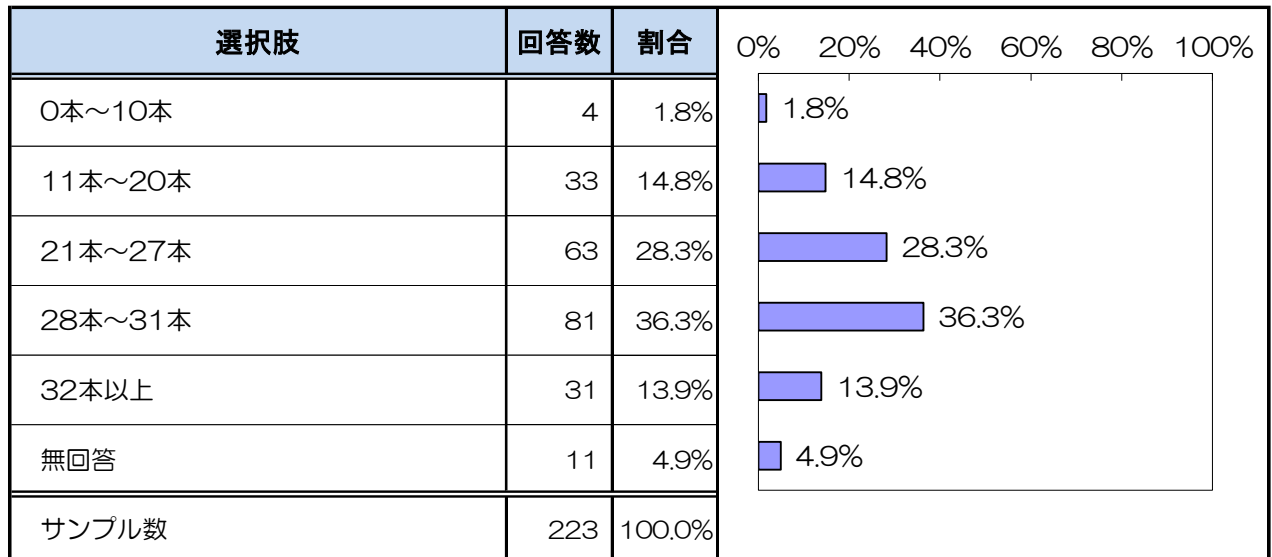
「1. できる」と回答された方の数日の平均歩数

「4,000歩～5,999歩」が24.3%と最も高く、次いで、「2,000歩～3,999歩」の23.6%、「6,000歩～7,999歩」の14.3%の順となっています。



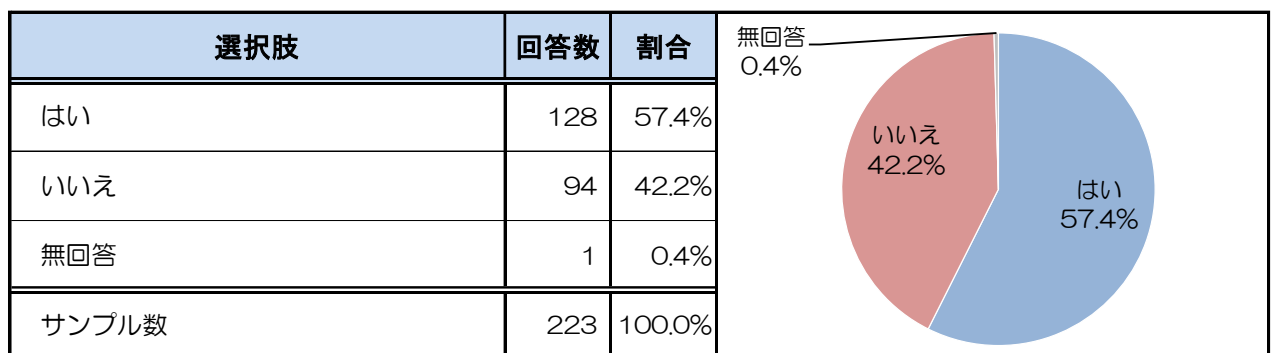
#### 問4 あなたの歯は、何本ありますか。

「28本～31本」が36.3%と最も高く、次いで、「21本～27本」の28.3%、「11本～20本」の14.8%の順となっています。



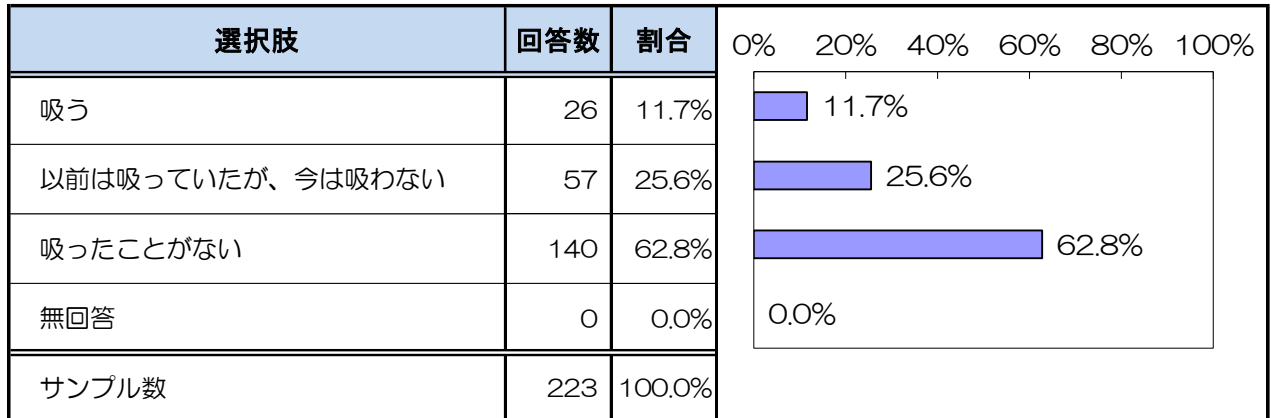
#### 問5 1年に1回は歯科検診を受けていますか。(単一回答)

「はい」が57.4%、「いいえ」が42.2%となっています。



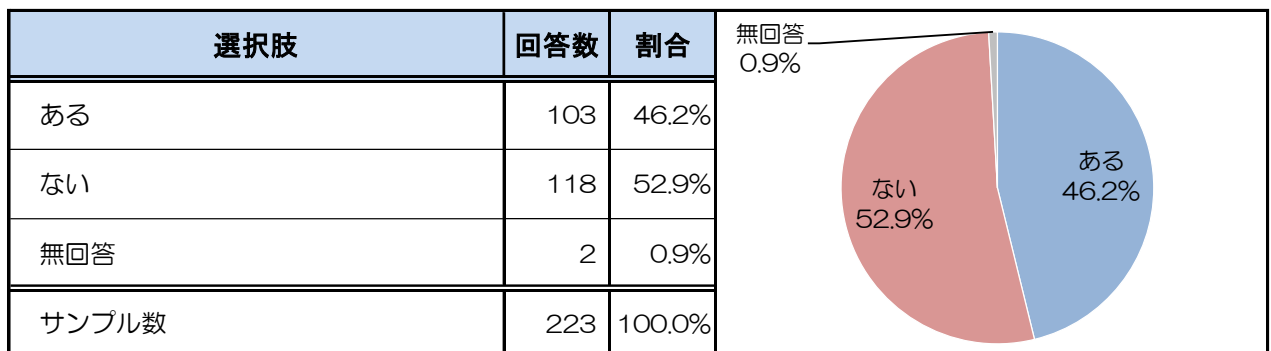
問6 たばこを吸いますか。(単一回答)

「吸う」が11.7%、「以前は吸っていたが、今は吸わない」が25.6%、「吸ったことがない」が62.8%となっています。



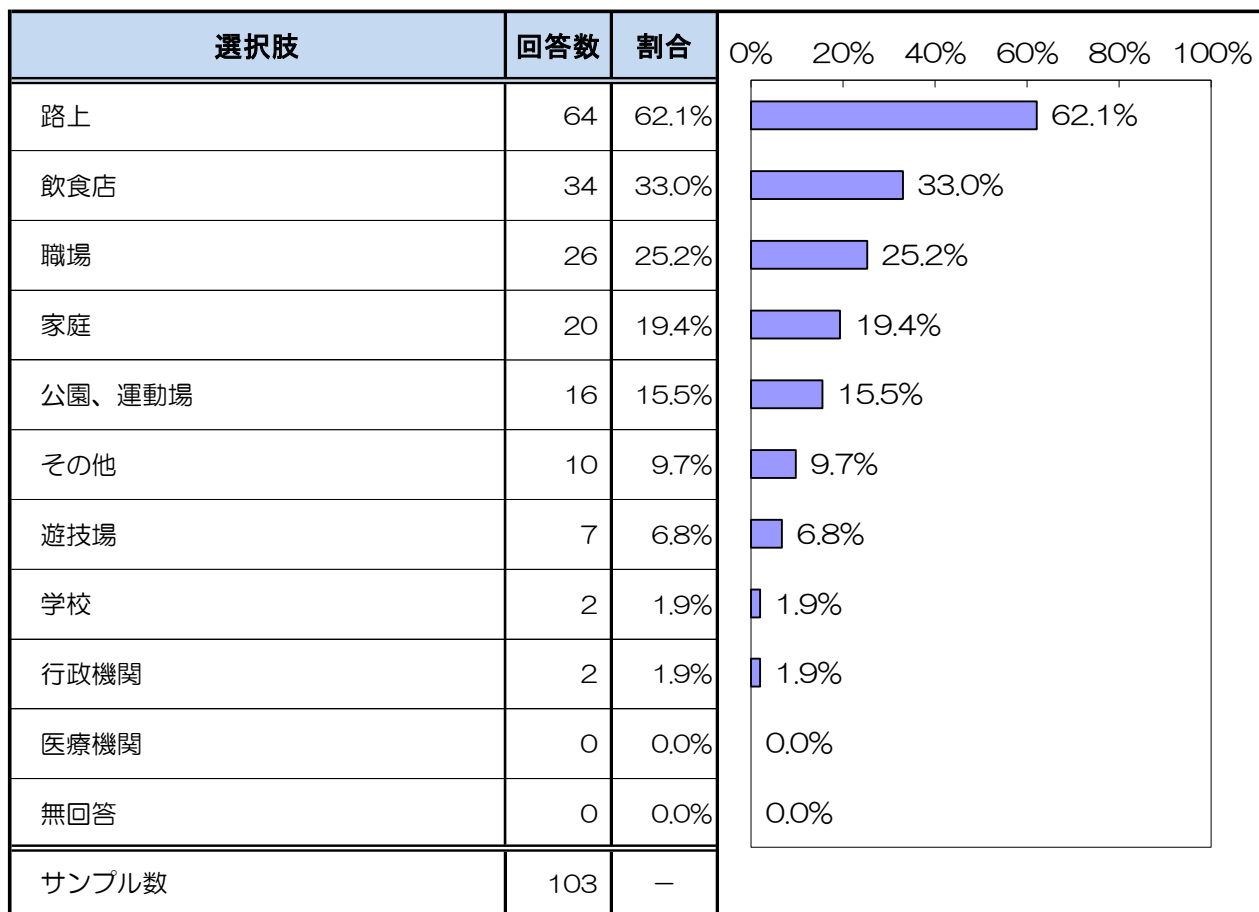
問7 過去1カ月間で望まない受動喫煙を経験したことがありますか。(単一回答)

「ある」が46.2%、「ない」が52.9%となっています。



問8 問7で「1. ある」とお答えした方にお伺いします。受動喫煙を経験した場所はどこですか。(複数回答)

「路上」が62.1%と最も高く、次いで、「飲食店」の33.0%、「職場」の25.2%の順となっています。



◆その他の回答（原文まま）

- ・ 隣人が、必ず外で喫煙されてタイミングが悪いと吸ってしまいます。
- ・ 隣家の人がいっぱい外で喫煙している。うちの庭に流れてくる。
- ・ 賃貸の共用部分玄関前
- ・ 店の前の喫煙所。人の出入りするところにあるので、避けられない。
- ・ 店の入り口にある喫煙所
- ・ 子どもの部活の体育館喫煙所付近・会社
- ・ 友達の家
- ・ 工事現場
- ・ 仕事での訪問先

問9 「健康づくり」について、市に取り組んでほしいことをご自由にご記入ください。

◆回答一覧（原文まま、一部重複有）

・健康づくりを行う環境（ハード面）に関すること

回答内容	性別	年代	地域
ウォーキングルートの整備と環境を整える（ルールをしっかり守る等）をお願いします。歩道では、ランニングする方、ウォーキングする方、自転車に乗る方様々いて危険を感じています。	男	40歳代	吉野
運動公園の追加	女	50歳代	吉田
グリーンベルトなどの木漏れ日の下にてプレイしたい。〔健康の為に〕バードゴルフやパークゴルフ場を作ってください。（子供から高齢者迄出来る打ち込めるスポーツ）	男	70歳以上	谷山
スポーツ施設の助成。温泉施設の助成。	女	50歳代	桜島
レンタサイクルの拡充。	男	30歳代	中央
公園で体力づくり等しますが、公園が汚い。ちり置き場のちりがたまっているのを袋に入れ写真を撮っている。呆れるね、他にもあり。→これは市が処分するちりです。全く掃除をしない。入札にして業者に依頼したら良い。	男	70歳以上	中央
公園等に健康器具の設置	男	60歳代	伊敷
公園の清掃。フンが多くて子供が踏んでしまう。	女	40歳代	中央
ジムが近くにあると嬉しい	女	50歳代	吉野
ジム施設の充実	女	30歳代	谷山
体力作りの為の器具？を多くの公園に設置してほしい。子供用遊具はこの公園にもあるが、大人用の物がある公園は非常に少ない。	—	—	—
中山の様なスポーツ施設では高齢者向けの室内施設利用時を設定できないものかと思っている。	男	70歳以上	谷山
フレスポなどの、運動施設利用料金をもう少し安くしてほしい。	女	50歳代	谷山
無料でバスケやサッカー、ラケットが借りれるなどそういった場所がもっと欲しいです。無料が厳しいなら格安で。手軽にスポーツを楽しめる場所を整備して増やして欲しいです。	女	29歳以下	中央
もつと、ジムの様な公園を、より多くの地域に、作って欲しい！	女	50歳代	喜入
ランニングや散歩コースは沢山あると思いますが、野球やサッカー等の練習場が少ないように感じますので、増やしてほしいです。	男	40歳代	松元
安心して歩き、走れるよう広い歩道が多くなるといいなと思います。外来診療時間が長い病院やクリニックが増えてほしいです。	女	50歳代	中央
屋内遊歩道のような雨の日でもウォーキング・ランニングが出来る施設があれば良いと思う。	女	29歳以下	谷山
可能であれば、公園を増設し、運動できる場所を増やしていただきたいです。	女	29歳以下	郡山
気軽に運動できる施設。環境。	女	60歳代	吉野
球技ができる小さな公園を増やしてほしい。	女	30歳代	喜入
近くに安心してウォーキングができるような所をつくってほしいです。	女	40歳代	中央
近くに公園、グラウンドや、筋力トレーニング施設があるといい	男	50歳代	吉田
健康づくりに適した「場所（公園など）」づくり	男	40歳代	谷山
公園が多いので、トレーニングができる施設を吉野地区に作って欲しい。	女	30歳代	吉野
公園などの遊具施設や散歩道など歩きやすい環境整備	その他	40歳代	谷山

※性別の「その他」は、「その他・答えたくない」と回答したことを示す

回答内容	性別	年代	地域
公園に行くと、アスレチック的な遊具がある所があって、よく利用させていただいてます。あちらこちらにいっぱいあると、気軽に健康づくりや体力づくりに役立つと思います。	男	50歳代	松元
公園の整備がされてなく歩きにくい。街灯もないため夜歩くのに不安がある。	女	29歳以下	谷山
高齢の方がなるべく外に出るような場所にしてほしいです。	男	29歳以下	喜入
広場、体育館の開放	女	40歳代	中央
今は介護優先ですが、以前はふれあいスポーツランドのジムに通っていました。低価格で機材も充実しており、自治体の施設として優れていると思います。そういう場所を駐車スペースがとれる郊外に増やしていくのもいいと思います。	女	50歳代	松元
散歩コースの充実	男	60歳代	中央
自転車で安全に走行することのできる道路又はコースの整備	男	60歳代	吉野
初心者でも気軽に、好きな時に通える、運動施設が増えてほしい	女	30歳代	中央
体育館やプール、トランポリンなどの施設の整備。	女	30歳代	吉田
体育館を作って欲しい。中央地区に無いから。	男	60歳代	中央
中国のように公園に健康器具の設置	女	50歳代	伊敷
動物と散歩できる所を増やして欲しい	男	60歳代	伊敷
何か作る時は乳幼児も一緒に楽しめる環境作りを忘れないでほしい。	女	40歳代	谷山
難しいとは思いますが、昔よりかも空き地や球技ができるの公園が減っているのので今の子供たちの為に予約無しでボール遊びが出来る広場があるといいと思います。	男	29歳以下	谷山
歩ける遊歩道などの整備	男	50歳代	中央
無料プール、トランポリン。	女	30歳代	吉田

## ・健（検）診に関すること

回答内容	性別	年代	地域
50代後半にもなると、普通の健康診断では解らない事が多々出てきます。先日会社でドックを受診した数人に、癌などの疾病が見つかりました。人間ドックが良いのは解っていても、時間と費用がネックになって受診しない人も多いのではないかとある一定の年齢になったらドックを受けるよう、会社への働きかけ、及び補助金等の支援があれば受ける人も増えてくるのでは？自分自身の健康については、自己責任でと言われてしまえばそれまでだが・・・	男	50歳代	伊敷
ある程度の年になったら無料で健康診断をして欲しい	男	60歳代	吉野
いきいき受診券の検査内容を拡大してほしい。パートなどで職場検診の機会もなく、採血など血液検査などの充実をしてもらいたい。郵送などでできる大腸がん検診（便）をしてもらいたい。持参しないと行けなかったりするのだから出来ないことが多い。	女	40歳代	中央
健康診断の予約がもう少し取りやすく、受けやすくなったら取組が進みそう。	女	40歳代	伊敷
地域で健康診断などできないでしょうか。	女	50歳代	喜入
人間ドッグへの市の助成金をもっと拡大してほしい。又、PR不足も感じるが…。地域でのシニア運動会に市の助成金を補助してほしい。	男	60歳代	中央
年齢層に沿った検診に合わせて、体力作りや栄養指導の窓口を開いてほしい。センターなど。	—	—	—
健康診断の検査項目の拡大	男	30歳代	谷山
健康診断を気楽に受けられるようにしてほしいです。	女	30歳代	吉田
健康診断等の無料化。成人のための体力テストなど。	男	50歳代	郡山
公園などで簡易な体力測定	男	30歳代	中央



回答内容	性別	年代	地域
国保検診制度の人間ドック並みの充実。人間ドック助成を！大腸癌検診で癌が見つかり、全面切除が成功、当面命を取り留めました。	男	60歳代	中央
子供のフッ素塗布を無料にして欲しい。	女	40歳代	中央
歯科検診	男	50歳代	中央
歯科検診の検診を促進してほしい。仕事で時間がないことやコロナ禍で検診控えがあるためどのようにしたらいいのかわからないところがある。簡単な予防法の資料や動画などがあるとよいと思う。	女	30歳代	谷山
歯科検診を無料に(年1回くらい)専業主婦向けの健康診断	女	30歳代	伊敷
若い人も無料もしくは低額で受けられる検診の実施(がん検診など)	女	30歳代	中央
人間ドックなどの健康をはかる手段への補助があれば。	男	29歳以下	中央
特定の検診は保険適用外であったり、人間ドックは高額になるなど、予防やセルフチェックを安価でできる仕組みを作って欲しい。	男	30歳代	桜島
年代別による定期検査の案内	女	40歳代	中央

## ・健康づくりイベントに関すること

回答内容	性別	年代	地域
歩こう会などのイベント	女	70歳以上	吉田
ウォーキング等に参加しやすい個人で好きなときに参加できるイベントなどやってほしい。公園スタンプラリーとか。	女	29歳以下	谷山
元日の“走ろう会”のような企画を他にも作ってほしい。(“歩こう会”でも)	女	50歳代	桜島
小さい子どもと気軽に参加できる、スポーツ大会などあるとうれしい。	女	30歳代	喜入
運動に関するイベントを沢山催してほしい。	男	50歳代	中央
運動のイベント	女	50歳代	中央
参加型のイベントの開催	男	50歳代	郡山
市が高齢者などに対して街歩きなどのイベント企画をして欲しいです。今コロナがまん延していて大きなイベントなどの企画が出来ない時期ですけど地域で小さな企画は出来ると思います。地域の史跡などを巡る街歩きなど出来たらいいと思います。	男	60歳代	谷山
市民ウォーキングイベント開催。途中途中で、お店を見たり、軽食をしたり、クイズをしたり、楽しみながら歩けると良い。	男	60歳代	中央
鹿児島市内のウォーキングマップを作り距離に応じたウォーキング大会を開催してほしい。経済の活性化に繋がると思う。	男	60歳代	中央
若い人でも参加出来るようなスポーティーな活動をして欲しい。	女	50歳代	吉田
親子で参加できるウォーキング大会、マラソン大会など	女	40歳代	谷山
竹田参り、西郷どんの遠行など元々足腰を鍛える事と結び付いた行事が色々あります。竹田参りなどは無くなりつつあります。健康づくりと結び付けてこういった行事を見直すことも考えていいのではないかと思います。	男	60歳代	中央
地域でのシニア運動会に市の助成金を補助してほしい。	男	60歳代	中央
未経験と経験者に分かれてスポーツを取り組めるイベントがあるとよい。スポーツに自信がない人でも参加できる環境があると取り組みやすい。	女	30歳代	中央
無料スポーツイベント	女	30歳代	喜入
無料のヨガやウォーキング、太極拳イベント。人数制限あり、参加難しい。	女	50歳代	中央

・健康づくりの周知・啓発に関すること

回答内容	性別	年代	地域
(自費のみを含む) 健診のススメ。	男	70歳以上	谷山
一家に一台血圧計を配布	女	40歳代	谷山
喫煙有害啓発に努める。自己管理の徹底	男	70歳以上	喜入
たばこの体に害がある事を知らせてほしい(チラシ、宣伝) かかりつけ医者からの禁煙の指導	男	60歳代	伊敷
鹿児島市の健康作りアプリが欲しい	女	40歳代	中央
簡単で無理なく長く続けられる健康方法をあらゆる媒体(ネット、新聞、テレビ等)で週一くらいの頻度で広報して欲しい。	男	60歳代	吉野
喫煙者に対して啓蒙活動が少なすぎる様な…よがとか、取り入れて頂けると有り難い…特に男性は無いような…	男	60歳代	中央
健康づくりに関する情報をSNSで発信。自分から探しに行くというよりは、利用してたら出てくるような仕組み。	女	30歳代	中央
健康に興味を持つような形での情報発信。(興味ない人は自分から健康づくりに取り組まない。)健康を保たないと結果金銭的、治療内容的等どうなるか等々…	男	40歳代	伊敷
健康器具例えばダンベルとかランニングマシン等が市内の公民館等においてある場所は知っているが、案内等を見かけたことがない。宣伝をしてはいけないのか?自宅の近くとか、職場のそばとか、生活シーンに合わせて利用を考えたい。市民の広場とか、載せられないか。	男	60歳代	吉野
古い栄養学ではなくて新しい栄養学を広めてほしい	男	60歳代	中央
最近高齢者の虚弱(フレイル)についての記事を目にする事が多くなりました。たんぱく質が不足しているとのこと。鹿児島錦江湾で獲れる魚や鹿児島の黒豚等をもっと健康的にも良い事をPRして鹿児島の食と健康を上手く活用していけば良いと思います。	女	60歳代	中央
市役所職員が模範となり毎日歩くことを推奨すること。	男	60歳代	中央
自家用車に代わる公共交通の利用は、健康づくりにも大きく貢献することが確かめられています。市電・市バスが環境にやさしいだけでなく、利用者の健康増進にもつながることをもっとアピールしていただきたいと思います。また市民の健康面において公共交通の果たしている役割を踏まえて、独立採算制を取っている市交通局に対する予算支援なども積極的に行っていただきたいと思います。	男	60歳代	中央
職場などでもできるような呼び掛けなど。	女	60歳代	吉野
定期的な周知	男	30歳代	中央

・健康づくりの講座・研修会に関すること

回答内容	性別	年代	地域
いわゆる「通いの場」を多く作ることが必要ではないかと思う。元気な高齢の方が運動や趣味活動等を定期的に行えるサービスを提供する場所があるといいのではないか。	男	30歳代	喜入
各地域毎に、ウォーキング教室やストレッチ運動を兼ねた健康教室(食生活を含む)を開催してもらいたい。	男	70歳以上	伊敷
講演会のWEB配信(健康関係)	男	50歳代	中央
地域内で体力づくり、健康づくり、などの研修等を定期的に関き参加しやすい場をつくる。	女	70歳以上	伊敷
どのようなことをやっているか、全てをわかっているわけではないので、的外れかもしれませんが、地域ごとに年齢で分けて参加できる、運動クラブなどがあるといい。	女	40歳代	吉野

回答内容	性別	年代	地域
よく公民館等やスポーツセンターなどで健康体操やヨガなどがありますが、ほぼ平日の昼が多く、働く人の時間に合わせたカリキュラムが少ないので、参加したくてもできないので、平日の夜や土日も、もう少し増やして欲しい。	女	50歳代	谷山
ロコモ、フレイル予防などの無料市民講座を増やしてほしい。	女	70歳以上	谷山
運動講座。スポーツ施設の助成。温泉施設の助成。	女	50歳代	桜島
気軽に参加できるような健康づくり講座を公民館等を利用して開催してほしい。	女	70歳以上	伊敷
近くにはよかセンターやサンエールもあり、以前は、ピラティスなども参加させてもらいました。今はコロナウイルス感染予防のため、参加したいけど、自粛しています。なので、意識して車を使わず、散歩してから買い物に行くとか、店の中をたくさん歩くとか出来る時にしています。市は、充分取り組んでいると思います。強いて言えばよかセンターの体育館で、卓球、バドミントンなどの講座があれば、健康の森まで行かないと出来ない、鴨池しかやっていないとかよりはニーズがあると思います。	女	50歳代	中央
健康維持をできる研修。	女	60歳代	吉野
県民の健康力を上げる取り組みに参加しやすい形で日常に取り組めると良いと思います。健康づくりと併せて緊急時の対応（AED等）を県民全員がしっかり学ぶ機会があると、緊急時にも安心して対応ができると思います。	女	40歳代	伊敷
仕事帰りに通える公共のジムやヨガなどの講座、サークル活動など。近場であるといい。	女	50歳代	吉野
地域別にもっと公民館などでヨガや体操など軽い運動教室を夕方や夜やってほしい	女	50歳代	伊敷

## ・受動喫煙対策に関すること

回答内容	性別	年代	地域
「吸ってもいい場所」を設置して、受動喫煙にならないよう空調設備を充実させてほしい。	男	30歳代	伊敷
タバコのマナーを守ってほしい	男	40歳代	松元
私がタバコを吸わないので路上やコンビニの前などでまあまあ受動喫煙をするのでなくなればと思いつつ、吸う側も難儀してるんだろうなあと思うので外に分煙区画が設けられれば良いのかなと思います。	男	30歳代	中央
受動喫煙がない環境構築を希望	男	40歳代	中央
歩きタバコを見かけるため、喫煙できるスペースを確保して欲しい。	男	30歳代	桜島
路上や歩きながらの喫煙について規制をして欲しいです。マスク生活も丸2年になろうとしています。マスクでは歩きタバコの煙を防ぐことが出来ません。喫煙者はマスクを外して(ずらして)歩行や信号待ちをしていて、私はマスクをして煙にさらされている。とても不公平に感じます。	女	40歳代	中央
路上喫煙など、もう少し規制をちゃんとしてほしい。歩道を歩いていてすれ違った人やチャリの人がタバコを吸っていて、イヤな思いをすることも多い。	女	40歳代	中央

・健康づくりに対する特典等

回答内容	性別	年代	地域
SNSと連携させて参加したらポイントが貯まり一杯になったら特典を貰えるような活動はどうでしょうか？例えば、食事のクーポンやショップの割引券等。選択式にしてみてもいいですか？今は歩いてポイントが貯まれば自販機でジュースが貰えるようなサービスがありますので、参考にするのはどうでしょうか？	女	50歳代	吉田
たくさん歩いた人は、何かの健診を安くするとか、無料にするとかしたら、いいのでは？	女	50歳代	谷山
運動や健診の受診など、健康づくりに取り組むとポイントがたまり、サービスや特典が受けられるような制度づくりなど。	男	50歳代	吉野
若い生産年齢人口の人に対しても、高齢者と同じように温泉施設の割引であったり、スポーツ施設の割引があると嬉しい。高齢者の老人パスで100円で市の温泉施設を利用できるのはうらやましい。生産年齢人口の人たちの健康が担保できれば、健康に働き続けることができるため、市の税収アップにもつながるのではないのでしょうか。鹿児島市は全国でも有数の温泉の保養効果を有しており、温泉施設ないスポーツセンターの利用のしやすさは「健康づくり」に貢献するものと考えます。	男	30歳代	中央
他の市でやっていたウォーキングの歩数をポイントに換算してくれる取り組み。	女	50歳代	吉野
年に1回健康診断や人間ドック受けた人で、結果が良かった人には特典をあげる	女	29歳以下	伊敷
歩数に応じて図書カードプレゼント	男	30歳代	喜入

・その他

回答内容	性別	年代	地域
タバコを吸う人も住みやすい世の中になって欲しいなあ	男	29歳以下	中央
個人情報とか国民の権利とかを理由に（盾に）検査の結果、行動の制限がかなり曖昧な状況になっていますが（コロナに関し特に）注意に注意をしている人々に対する責任問題はどうか？これこそ大切な事ではないですか？罹患してしまっただけでは遅いこと、十分な治療も受けられない5波の時のこと考えて初期こそ重要なのにどこでの情報もなく注意のしようもないです。自己責任も諸情報を知った上でのことなら未だ納得も出来ませんが！今の行政は個人情報と言え責任を回避出来たと思いたいのでしょうか？少数派を守り他の自薦とは危険にさらされていることになっています。	女	70歳以上	谷山
子供の通院や、寝込むほどではないけれど診て欲しいとき、仕事を休まなくても、探さなくても行けたらと思います。	女	50歳代	中央
子どもと高齢者の体力向上	女	40歳代	中央
住民が積極的に取り組みたいと思うような取り組みを期待します	男	60歳代	谷山
何か運動しなくてはと思っているのですがなかなかできずにいます。	女	50歳代	吉野

回答内容	性別	年代	地域
本市の場合は、子供から年寄りまで、細かく丁寧な施策が実施されており感謝している。所管課が少し異なるのかもしれないが、更に望むことと言えば、若い共働き家庭のために、「発病児看護保育施設」などへのてこ入れの強化を図ってほしい。施設の充実と、その存在の啓発が進めば利用者にとっては有意義だと思う。	男	70歳以上	谷山
特には思いつきません。まずは自己の意識からだと思います。	女	50歳代	谷山
思いつかない。	女	40歳代	桜島
どのような取り組みがいいのか、わかりません。	女	50歳代	谷山
とくになし	女	29歳以下	谷山
特に、ありません。	男	40歳代	谷山
特にありません。	男	30歳代	中央
特にありません。	男	30歳代	中央
特にありません。	男	60歳代	中央
特にないです	女	40歳代	伊敷
特にないです	女	50歳代	中央
特になし	女	30歳代	中央
特になし	女	29歳以下	伊敷
特になし	女	30歳代	吉野
特になし	男	29歳以下	中央
特になし	女	50歳代	中央
特になし	女	40歳代	谷山
特になし	女	30歳代	吉野
特に無し	女	30歳代	谷山
なし	男	60歳代	中央

## Ⅲ 選挙について

### 1. 調査の目的

今回の衆議院議員総選挙の投票率は53.31%となり、前回は2.85%上回ったものの、それでも全国や県を下回るなど、鹿児島市においては、投票率の低下傾向や政治への無関心が課題であると考えております。

今回、選挙に対する意識、期日前投票や啓発媒体の状況について調査し、今後の選挙の投票率向上に向けた啓発活動の参考とするため、アンケートを実施しますので、ご協力をお願いいたします。

### 2. 調査結果を受けて担当課（選挙管理委員会事務局）からのコメント

今回、選挙に対する意識や啓発媒体の状況を把握し、今後の投票率向上に向けた啓発活動の参考とするため調査させていただきました。

政治への関心や選挙の投票への参加については、皆様の意識や認識の高さを伺うことができました。政治や選挙に関する情報を得る手段については、インターネットよりもテレビや新聞の方が割合が高いという結果でしたが、インターネットについては現在普及が進んでいることから、投票率の低下傾向にある若者に対する情報提供手段として、また投票方法の手段への関心も多く寄せられており、投票率向上への有効手段として、活用方法に工夫が必要であると感じました。

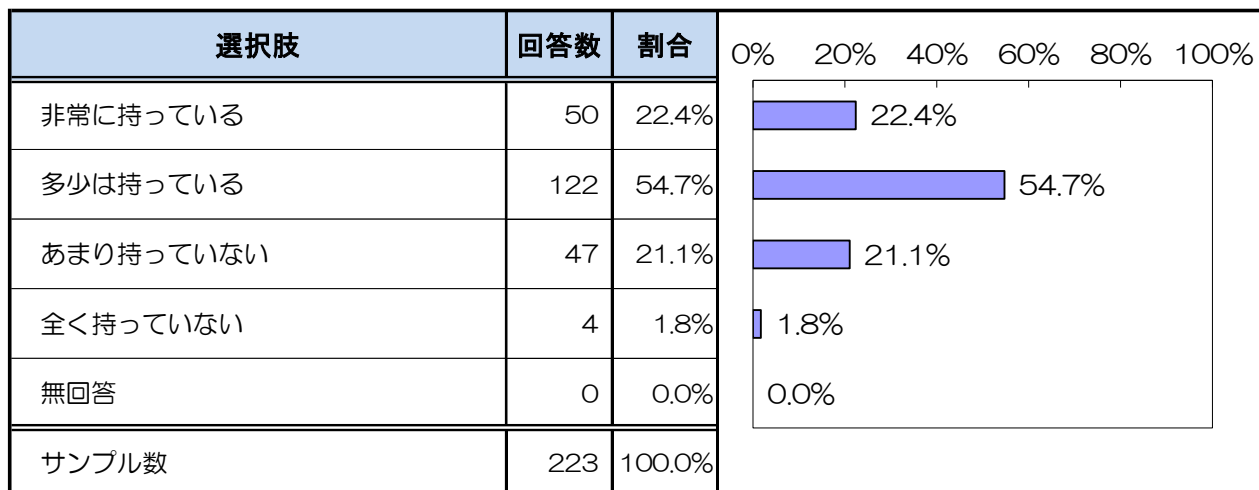
自由意見におきましても、選挙の投票率を上げるために必要なこととして、学校や家庭等における子どもへの教育に関すること、候補者や政治に関する周知や啓発に関すること、選挙制度に関すること、など数多くのご意見をいただくことができ、大変参考となりました。

これらも含めました今回の調査結果を踏まえまして、投票率向上に向けて、様々な機会を捉えまして努めてまいりたいと考えております。

### 3. 調査結果

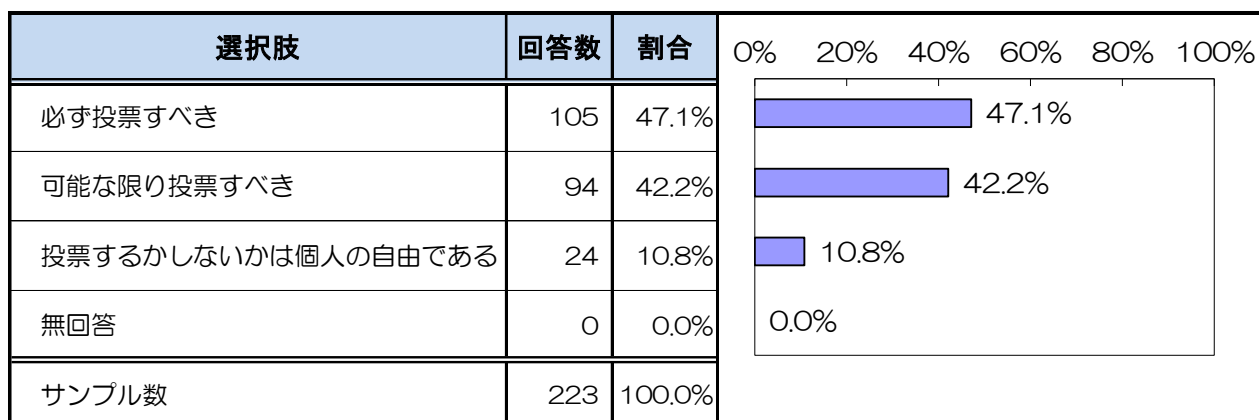
#### 問 10 あなたはふだん政治について関心を持っていますか。(単一回答)

「多少は持っている」が 54.7%と最も高く、次いで、「非常に持っている」の 22.4%、「あまり持っていない」の 21.1%の順となっています。



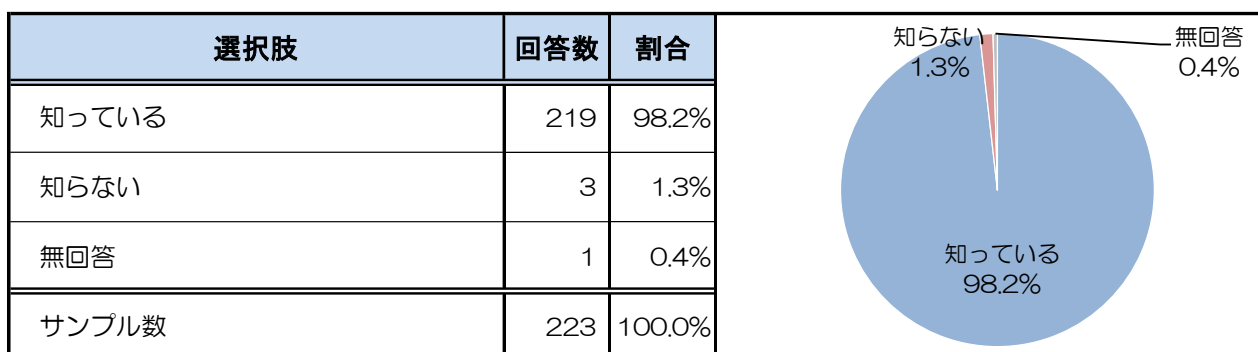
#### 問 11 あなたは、ふだん選挙の投票について下記の中のどれに近い考えをもっていますか。(単一回答)

「必ず投票すべき」が 47.1%、「可能な限り投票すべき」が 42.2%、「投票するかしないかは個人の自由である」が 10.8%となっています。



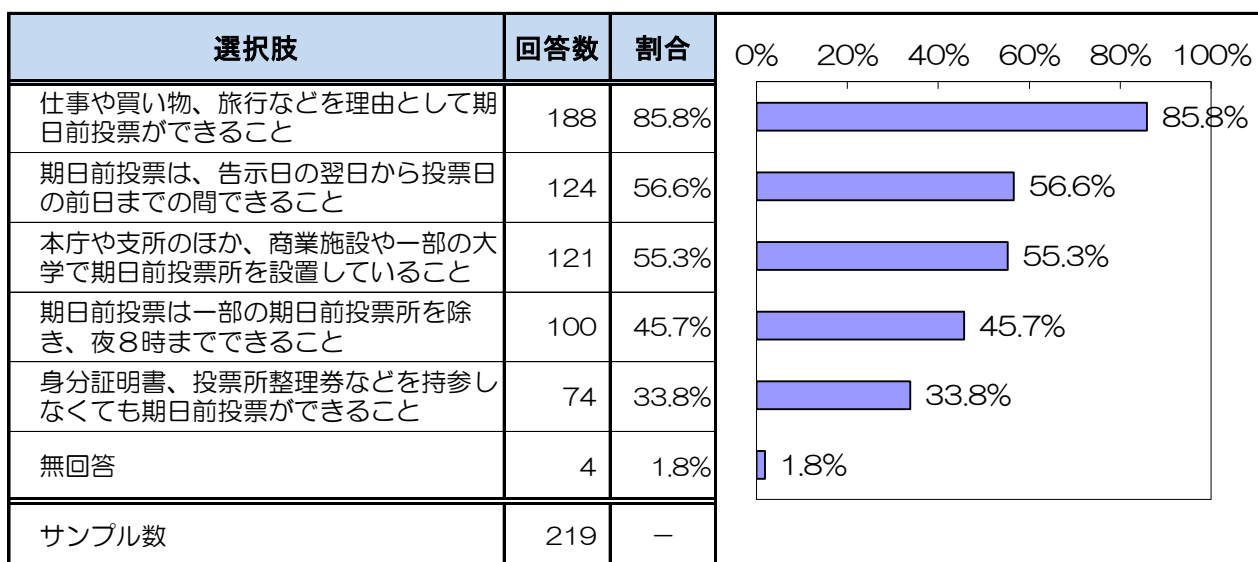
問 12 あなたは、「期日前投票」制度を知っていますか。(単一回答)

「知っている」が98.2%、「知らない」が1.3%となっています。



問 13 問12で「1. 知っている」とお答えした方にお伺いします。あなたは、「期日前投票」制度について、知っていることはありますか。  
(複数回答)

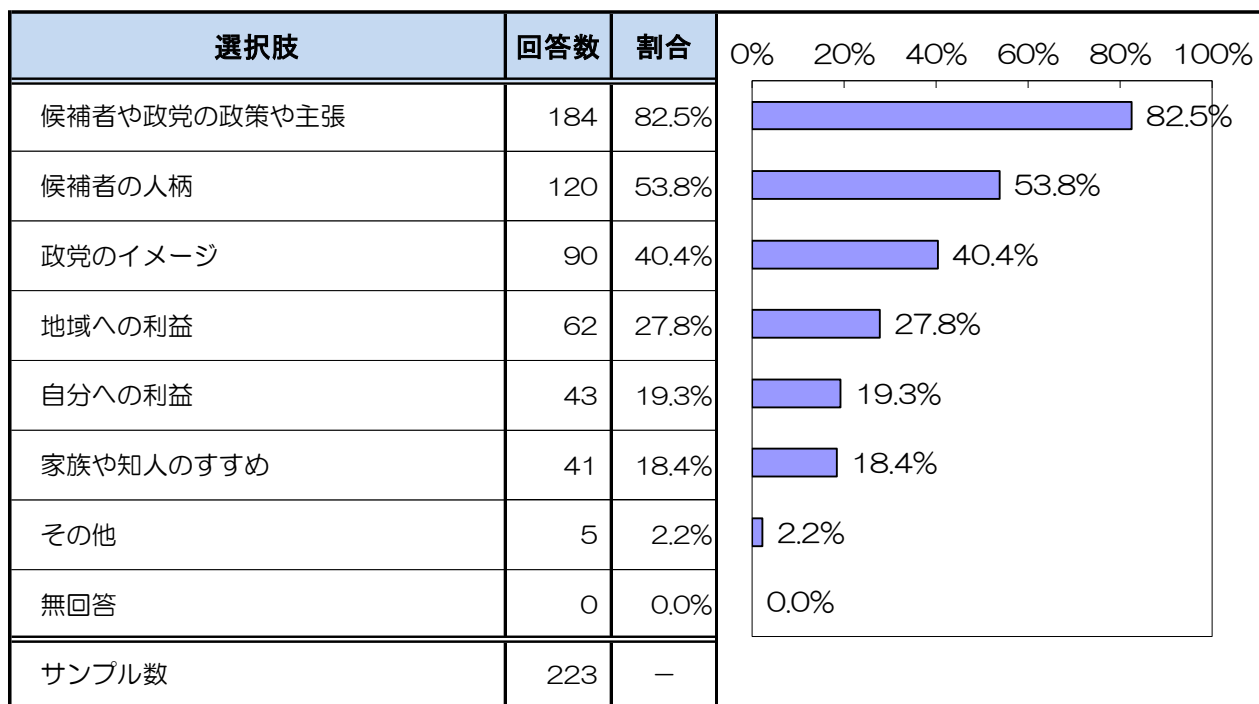
「仕事や買い物、旅行などを理由として期日前投票ができること」が85.8%と最も高く、次いで、「期日前投票は、告示日の翌日から投票日の前日までの間できること」の56.6%、「本庁や支所のほか、商業施設や一部の大学で期日前投票所を設置していること」の55.3%の順となっています。





問 14 あなたは、選挙でどの候補者や政党に投票するかを決める時、どのような点を考えて決めていますか。(複数回答)

「候補者や政党の政策や主張」が 82.5%と最も高く、次いで、「候補者の人柄」の 53.8%、「政党のイメージ」の 40.4%の順となっています。

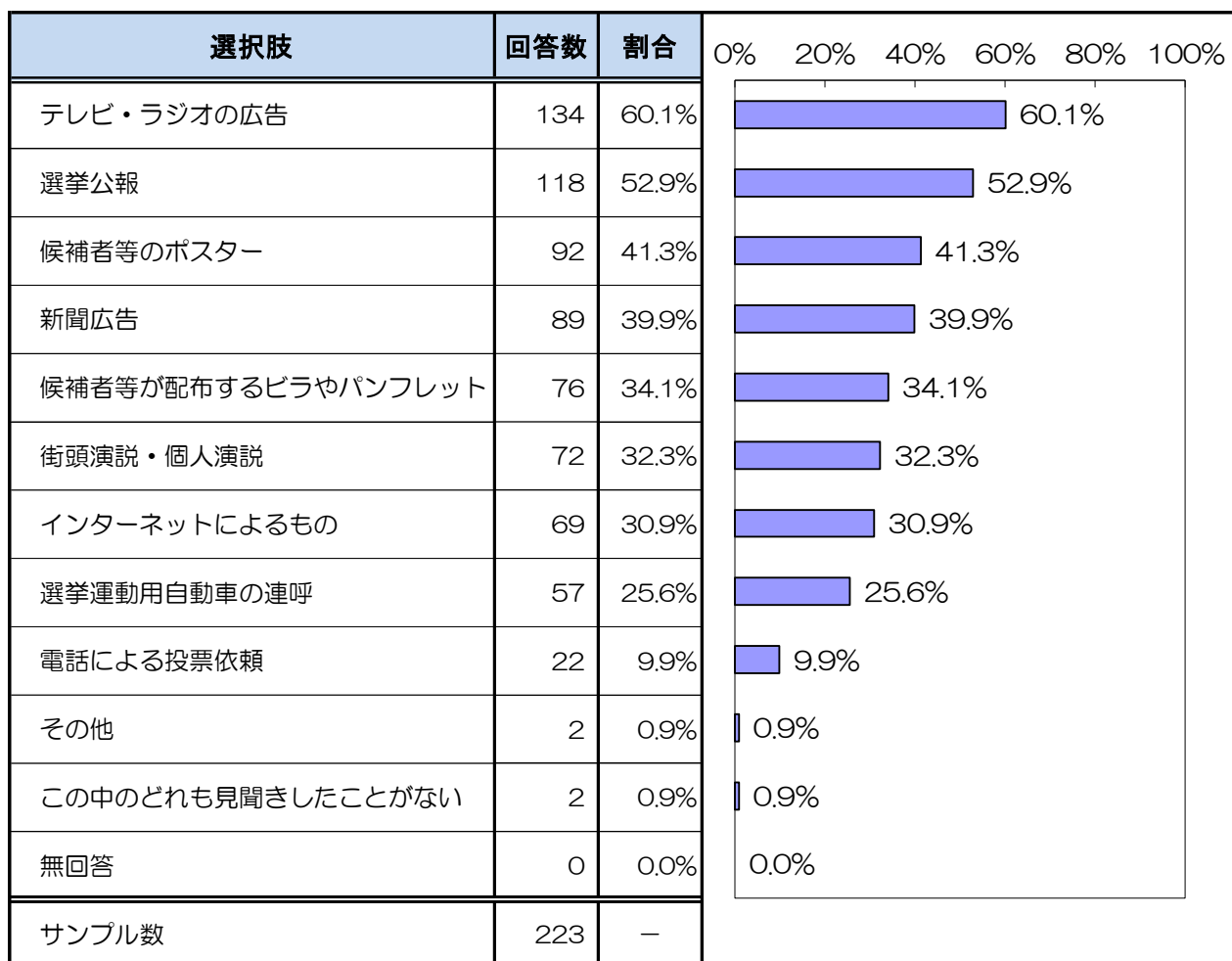


◆その他の回答 (原文まま)

- ・ 少子化対策を本気で考えていそうな候補者、実現するのに近そうな候補者。
- ・ 家の近くに事務所がある人。
- ・ 与党、野党のバランス (決定時数の多い方が決定することになり市民にとって思い通りの政策が望めない)
- ・ 街頭演説等。
- ・ いろんな主張を聞いて実現出来そうなことがら聞いていても可能性のこと口ばかりの方もいるし、良く考え自己の主張を聞くことにしている。

問 15 あなたは、選挙の時にどのようなものを見たり聞いたりしますか。  
(複数回答)

「テレビ・ラジオの広告」が 60.1%と最も高く、次いで、「選挙公報」の 52.9%、「候補者等のポスター」の 41.3%の順となっています。

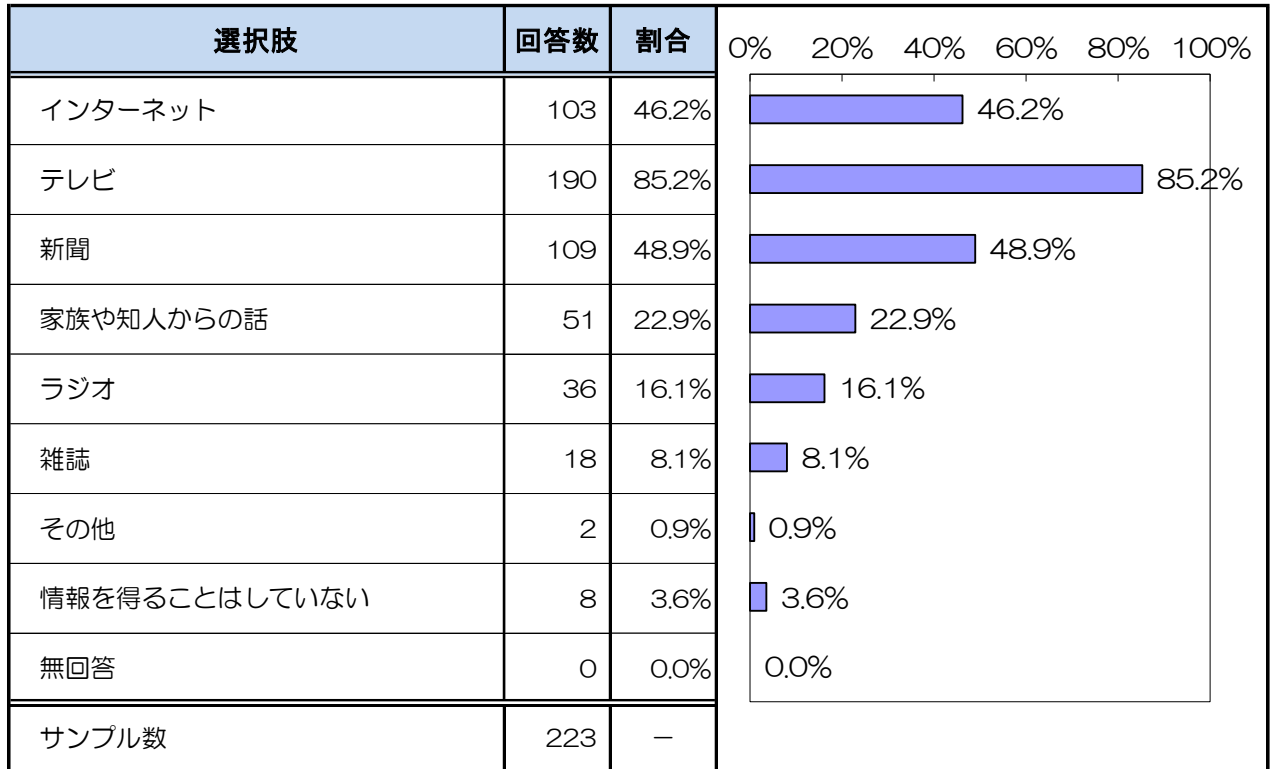


◆その他の回答 (原文まま)

- ・信頼できる広告公報パンフはないが、大風呂敷気味ですので人相も大切とを考えます。お顔は少しは情報源になります。

問 16 あなたは、ふだん政治や選挙に関する情報を何から得ていますか。  
(複数回答)

「テレビ」が85.2%と最も高く、次いで、「新聞」の48.9%、「インターネット」の46.2%の順となっています。



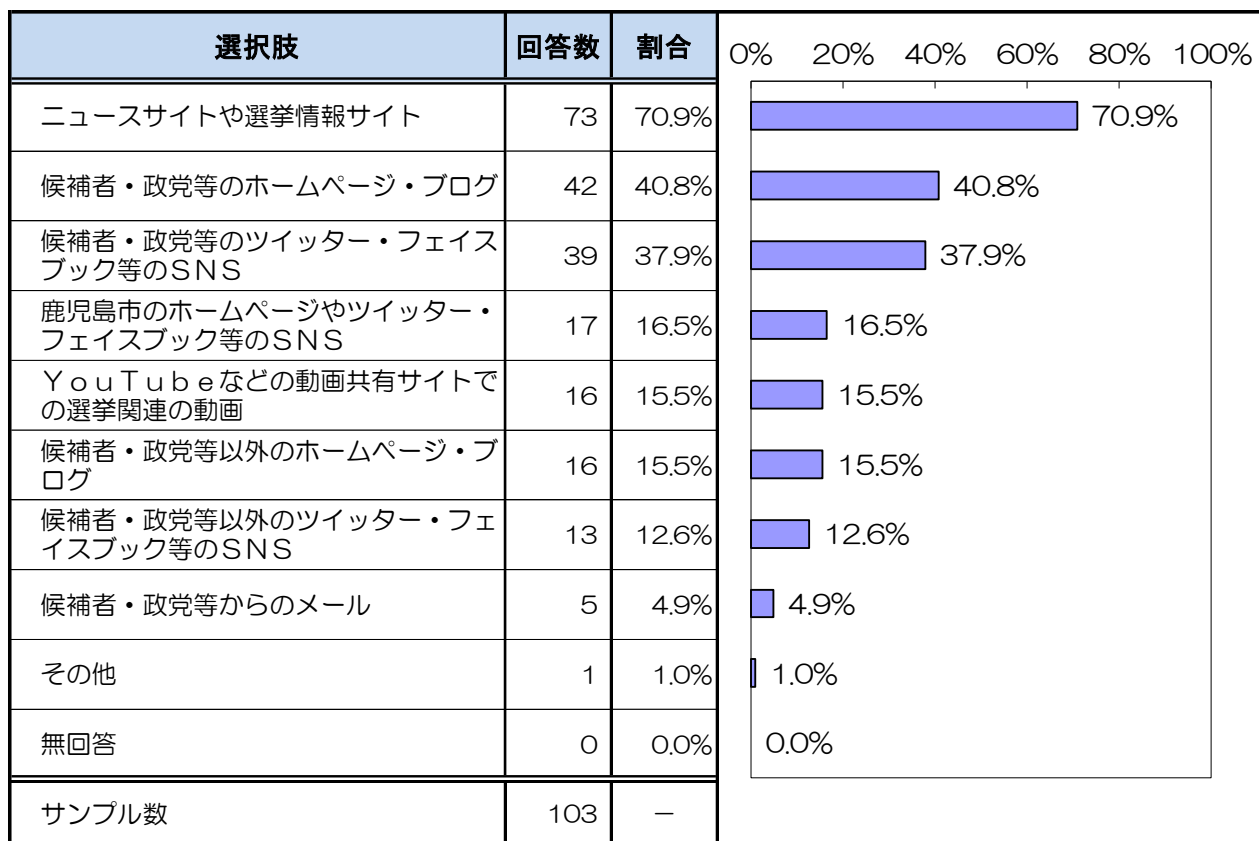
◆その他の回答 (原文まま)

- ・インターネットによる国会、国の委員会、市議会の傍聴
- ・政党か議員の公報パンフ等

問 17 問16で「1. インターネット」とお答えした方にお伺いします。あなたが投票するにあたり、どのような情報を参考にしますか。

(複数回答)

「ニュースサイトや選挙情報サイト」が70.9%と最も高く、次いで、「候補者・政党等のホームページ・ブログ」の40.8%、「候補者・政党等のツイッター・フェイスブック等のSNS」の37.9%の順となっています。

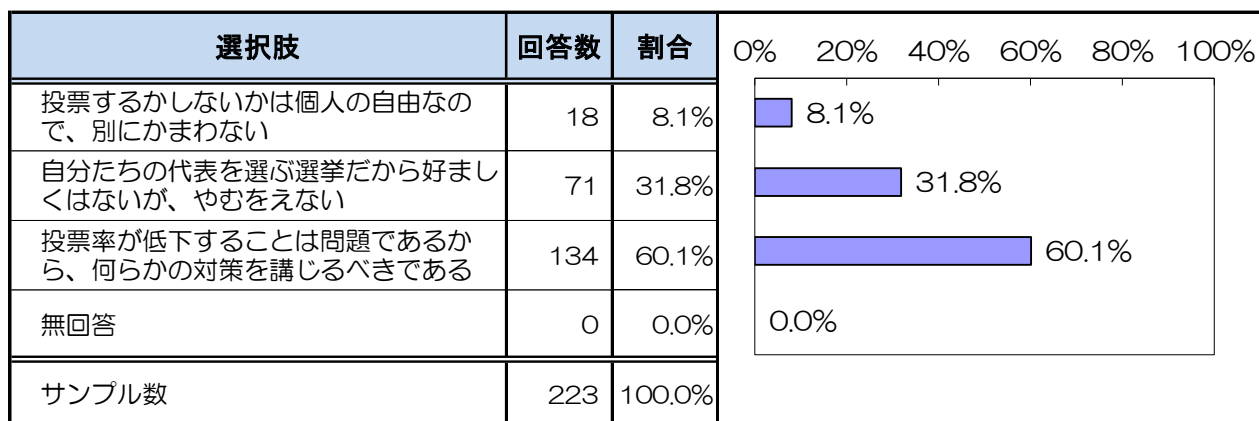


◆その他の回答 (原文まま)

- ・政治に詳しい人 (ちゃんと批判できる人) のブログや Twitter、インスタなど。

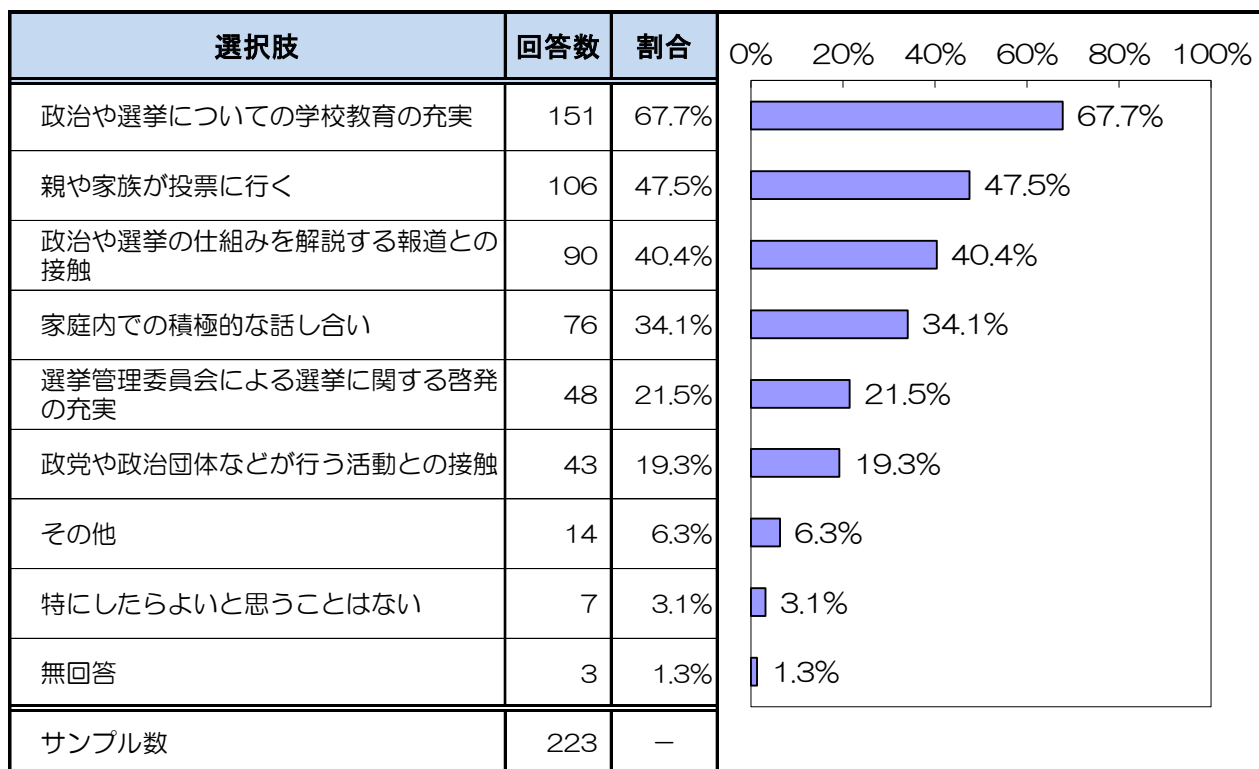
問 18 最近の選挙では、投票率が低下してきていますが、あなたはこのことについて、下記のどれに近い考えを持っていますか。(単一回答)

「投票するかしないかは個人の自由なので、別にかまわない」が 8.1%、「自分たちの代表を選ぶ選挙だから好ましくはないが、やむをえない」が 31.8%、「投票率が低下することは問題であるから、何らかの対策を講じるべきである」が 60.1%となっています。



問 19 若年層（10代・20代）の投票率が低下傾向にあります。あなたは、若年層の政治や選挙に関する意識を高めるにはどのようにしたらよいと思いますか。(複数回答)

「政治や選挙についての学校教育の充実」が 67.7%と最も高く、次いで、「親や家族が投票に行く」の 47.5%、「政治や選挙の仕組みを解説する報道との接触」の 40.4%の順となっています。



## ◆その他の回答（原文まま）

- ・若い人たちは、インターネットから情報を得ることが多いと思うので、インターネットを活用するのがいいと思う。
- ・親子で投票に行く。
- ・政治家の定年制。若者が選挙に行かないのは、行ってもしゃあないからというのがあり、若い方（40代前半まで）の立候補者が少ないから。立候補が少ないのは投票するご年配の方々のニーズにあうマニフェストが難しいから。上記のように安易なものでもないのは理解しているが、行ってもしゃあないという部分を少しでも解消することではないか。
- ・若者向けの政策を作る。
- ・若者自体が自ら考える事でもあろうが、興味が無い子らは、その親の言動にも左右されかねない。政治家が正しい仕事をしていれば、親も不平を言う事は無いが、選挙の時だけお願いしますで、当選後は知らんぷりの政治家が多すぎるので、親の不平を子供が聞くことになる。兎に角、政治家の仕事ぶりにかかっているとと思う。
- ・投票によるインセンティブ
- ・投票所になくてもアプリなどで投票できる簡単な仕組みにしたらいと思う。
- ・携帯等で、簡単に投票できるようにする。
- ・親や友人を必ず投票へ連れて行く。
- ・一番問題は選びたい候補者がいないこと（小選挙区ともなると尚更です。）総理大臣からして人格者とは絶対言えない。保身の為出鱈目答弁それが許される政界、司法も裁判官の国民の判定もほとんどが○する方が多い。何なのでしょう。裁くべきは誰ですか？
- ・民主主義の根本であることの第一歩は選挙に参加する事である教育
- ・やはりテレビ等で各政党の活動の在り方等の紹介など
- ・政治家の汚い社会を無くして欲しい。

問 20 選挙の投票率を上げるために必要なことについて、どのようなことでも構いませんので、ご自由にご記入ください。

◆回答一覧（原文まま、一部重複有）

・学校や家庭等における子どもへの教育

回答内容	性別	年代	地域
学校での積極的な教育が大切だと思います。	女	30 歳代	喜入
小学校・中学校・高校で授業に取り入れる。(模擬国会を行うなど学習で国や地方行政を意識する。)	男	50 歳代	郡山
政治、選挙に関心がないと投票率は上がらないと思う。学校教育が大切と思う。	女	70 歳以上	伊敷
家庭で政治について話す。学校で政治の授業を行い、自分達の生活につながっていることを教える。政治家の方達がもっと地域での活動を行い、子どもたちにとって身近な存在である。	女	50 歳代	吉野
家庭教育が大切だと思う。親がちゃんと教えてあげれば、投票率は上がる。私は、毎回、子供を連れて選挙に行く。私は、今まで選挙で棄権したことが無い。自然と子供も選挙に行くようになった。	男	60 歳代	中央
格差のない社会で全ての人が幸せな生活を送る為には国民の代表である優秀な政治家、利己主義ではなく利他主義、正義感のある政治家を選挙で選ぶ事が大事、国や国民の未来は自分達が選挙に行く事だと言う事を若者に教育して欲しいです。	女	60 歳代	谷山
学校教育での政治についての教育	その他	40 歳代	谷山
学校教育の中で児童、学生に政治についてカリキュラム化する。自分達の生活に直接かかってくることを学校教育の中で理解させていく。	男	70 歳以上	中央
学校授業の一環として投票の時間を設ける	女	30 歳代	谷山
子供の頃から選挙について自分の権利であることを少しずつ理解させていく。そして選挙、当選が自分にどう影響するのか知ること。	女	30 歳代	吉野
私達では、わかりません。家庭教育が大事なのでは？親が無関心だと！どうなのでしょう？	男	60 歳代	中央
実際に投票所に足を運んでもらうことが一番大事だと思います。我が家は夫婦揃って投票所に行きます。毎回、子どもも連れて行って、投票の様子を見せています。現在、子どもは中学生になり、政治や選挙の仕組みを学校でも教わっているの、投票の大切さを理解出来ているようです。	女	40 歳代	中央
小さい時から触れ合う機会がなければ投票に行かないし考えないと思う。学校の授業で取り入れるのが早い解決策だと思う。	女	30 歳代	中央
小学生など早い段階から学校での政治教育をした方が良い。	女	30 歳代	中央
親子で選挙に参加することがよいと考えます。私は現在大学生で、18の時から選挙に参加しています。ですが、私のまわりの友達に「親が行かないから私も行ってないよ」と言っていました。やはり、大人が選挙に行く姿を見て、子どもも便乗して選挙に行くものなのだと思います。	女	29 歳以下	郡山
政治に対する考え方を学校で積極的に取り上げをして欲しい。学校は政治に対して中立でなければならない。しかし中立である事と何もしないことは矢張違うと思います。しかしもう少し踏み込んだ事が出来ないものかと思っています。	男	60 歳代	中央

※性別の「その他」は、「その他・答えたくない」と回答したことを示す

回答内容	性別	年代	地域
政治や選挙に関わる意識を高めることがまず肝要であると思う。そのためには教育の分野での学びを徹底することである。そこで「行政サービスの質や内容を決めるのが政治であること」「それを決める代表者を選ぶのが選挙であること」を教え、政治を身近なものとして感得してもらうことが大切ではないか。また、知識注入式の学習から自ら調べ、議論、行動して学ぶ学習への転換を図り、判断力と行動力をもった人間育成に努めることも求められると思う。単なる投票率アップの問題としてではなく、日本人がよりよい市民としての力を付けていくことを目指さない限り、政治も良くはならないし、投票率も上がらない。	男	70歳以上	谷山
政党の特色を義務教育で教え、興味を持つようにする。時間がかかる問題だと思う。	女	50歳代	吉野
税金の仕組みや税金の使い方など、小学生、中学生のころからの知識	女	50歳代	中央
選挙に行くことと自分達の生活との結びつきが実感しにくく、選挙の重要性が希薄化していると思う。一票の重みを実感できる方法があったり、政治に自分達に関わっているんだと感じられることが大切。そうなることややはり学生時代に関わる機会が多いといいのかもしれない。	女	30歳代	中央
選挙に行き投票することで自分の住んでいる社会や地域に変化をもたらす可能性があるという事実を学校で教育したり、新聞やその他のメディアで報道したりすること。	男	29歳以下	吉野
選挙に対する意識を幼少期からどれだけ高められるかに寄与すると考える。義務教育時代からの積極的なディスカッション形式で個々の考えを主張出来る環境や風土が大切である。	男	30歳代	中央
長期的には、幼少期からの教育。	男	40歳代	伊敷
投票に行く様子を子供の頃から見ることが出来る環境にあるといいと思います。投票所での高校生ボランティアなど法律がどうなっているのかわかりませんがいかがでしょうか	女	50歳代	谷山
投票率が低いのは、若者が今の日本を、ないし自身の現状を「特に不自由なく平和である」と感じているからだと思う。若者が、日本の税負担率や老後問題など、これからの日本で生きていく上での「危機感」を自覚すれば、自ら勉強するし、最も身近な金融のリテラシーが上がれば、自然と政治・経済に興味を持ち、自ずと投票に赴くことになると思う。これから、高校生でも家庭科で金融の授業が始まるし、日本人ひとりひとりの金融リテラシーが上がれば、投票率も向上してくるものと思われる。日本の現状、未来、政治、経済を「自分事」としてとらえることができるようになれば、選挙にいかない選択肢にはならないと思う。	男	30歳代	中央
日本の学校教育は「政治的無関心」の若者を作り出している。学校教育から改めるべきだと感じる。	男	40歳代	谷山

## ・インターネット投票の導入

回答内容	性別	年代	地域
インターネットから投票できると便利かなと思います。	女	40歳代	喜入
インターネットでの投票	男	50歳代	郡山
インターネットでの投票	女	50歳代	中央
インターネットで投票できるようにする	女	50歳代	中央
インターネット投票	男	50歳代	中央
インターネット投票	男	60歳代	中央
インターネット投票を実施すべき	男	40歳代	伊敷
オンライン投票ができるようになればいいのには思います	女	30歳代	中央
システムが非常に難しいと思うが若い人には、ネット携帯での投票を考える時期に来ているのではないかと。	女	50歳代	伊敷



回答内容	性別	年代	地域
ネットでの投票	女	40歳代	中央
ネットでの投票が、できるようにすると若者の投票率もぐんと上がると思う。	男	60歳代	中央
ネットによる投票	男	40歳代	中央
ネット投票とう、簡単にできるシステムができれば良いと思う	女	30歳代	伊敷
ネット投票の確立（難しいだろうけども）	男	30歳代	中央
わかりやすい説明やネット投票とかあれば行きやすい環境になるかと思う。	女	30歳代	谷山
携帯等で、簡単に投票できるようにする。	女	30歳代	喜入
若い人は、スマホ投票とか、選挙権ナンバーとマイナンバーを一致させた時に投票できるような、なかなか難しいかもしれませんが、簡単にできるようにになれば、少しは投票率が上がるのではないかと思います。特に、会場に行って裁判官の選挙があることを初めて知って、人物なりを知らないまま、名前だけを見て投票するのに、とても抵抗があります。スマホだと、調べながら投票ができると思います。	女	50歳代	谷山
若者たちに浸透している。ネット等による投票の制度を構築するべきである。	男	60歳代	吉野
選挙に投票する方が真面目で、しないことが普通のように思っている方もいらっしゃいます。魅力的な候補がないということもありますが、投票にわざわざ休みの日に行くのが面倒な方も多と思います。おおよその方が携帯を持つ時代です。そろそろワンクリックで投票できるようになっても良いのではないのでしょうか？郵便で届く投票用紙もネットで受け取りにすれば、郵送費、集計や設営等の人件費等の節約にもなると思います。	女	40歳代	伊敷
選挙はネットからでいいと思う。	女	60歳代	中央
選挙は未だにアナログ形式の投票方法です。残念ながらこの投票方法は既に「時代遅れ」なのかもしれません。色々セキュリティ面や不正対策面などで、ネット投票の導入は難しいのかもしれませんが、やはり、投票率を本気であげたいと考えるのであればネット投票の導入を検討したほうが良いと考えます。	男	50歳代	吉野
大学でも期日前投票ができたりするので、各大学に設置するとか、もはやネットからできちゃうとかになると投票率はあがるかと思えます。	女	50歳代	中央
投票へのハードル下げ。ネットでできるなど、もっと簡単に投票に参加できるといいと思う。	男	29歳以下	中央
インターネットでもできるようにして欲しい。	女	30歳代	谷山

## ・投票に係る特典や罰則の導入

回答内容	性別	年代	地域
インセンティブ	男	40歳代	松元
海外では投票に行くと抽選券をもらい景品が当たるという話もあるが、邪道かもしれないが政治に関心を持ってもらう意味では一考してもよいのでは？	男	60歳代	中央
きっかけがないと若い人は足が向かないのかもしれませんが。「献血したらマクドナルドのハンバーガーもらえます」というのがありますが、例えばふれスポの施設が使えるクーポンとかどうでしょう。一度行ってこういうものだとわかれば、敷居もひくくなるのかもしれませんが。	女	50歳代	松元
クーポンの提供。ぐりぶーみみたいなシステムを選挙時に利用する。	男	50歳代	中央
投票のメリットをポイント付けやプレゼント付けで行動しやすくする。今でもあるけれどまだ知らない人も多いので。	女	50歳代	桜島

回答内容	性別	年代	地域
ペナルティとまでは言わないが、義務だということをもう少し徹底してもいいのでは。選挙に行かないといけないと思わせる何かがあったらと思う。	女	40歳代	中央
ポイント制にして年金にプラスする。ポイントのない人は年金をマイナスにする。(理由によって)	男	70歳以上	谷山
ボランティアか、もしくは多少なりとも謝礼をして、地域の食材とかをふるまってくれる方々に市がサポート体制を整えてながら、ぜんざいを食べれるとか、ちょっとした楽しみがあると行くのではないのでしょうか。	女	40歳代	谷山
何か粗品かポイントなどをつけたら絶対行く人が増えると思う。	女	50歳代	伊敷
選挙した方には、何か特典を、付ける！いくつか準備して、選ばせる。たとえば、焼き肉なべしまの券のようなので、マクドナルドの券、ケンタッキーとか、モスバーガーとか、若者たちが興味をわく特典をプレゼントしたらいいのではないかなあーと、思う！勿論経費は、かかると思います。	女	50歳代	喜入
選挙に行った時にカード（投票済み）の配布によっての飲食店の割引点を増やしてほしい。	—	—	—

#### ・選挙に関する周知・啓発

回答内容	性別	年代	地域
SNSやインターネットの活用。それらを通して若年層も政治に触れやすいような窓を作ること。	女	30歳代	中央
政治に関して、まだ身近に感じることや興味、関心を持ってないのが正直な所。投票することでどのように自分達へ関わるのかが知りたい。	女	29歳以下	吉野
政治の仕組や候補者の意見を聞く機会を増やす若年層が興味を持つ話題性を提供してほしい。当選した方々よりの志しの経過を知りたい。	—	—	—
たいへん難しい問題ですので、良い考えが思いつきませんが…。おそらく、投票をしたことのない若者は、投票所に行ってもどのように投票するかがわからないため、漠然とした不安や気後れがあるのではないかと思います。一度行けば難しくないと分かると思うのですが、その初回を踏み出すことができない若者が多いのではないかと推測します。これに対してはSNSなどで投票の流れの動画を見せることで、ある種の不安を払拭できるかもしれません。また、自分自身の経験から、親が子供を幼いころから投票所に同伴し、投票のやり方を見せることも有効です。親と一緒に来た子供に鉛筆1本でもカード1枚でも配ってみたら、子供も親と一緒に投票所に足を運びたくなるかもしれませんし、逆に親を促して一緒に投票に行くという相乗効果も期待できるかもしれません。	男	60歳代	中央
投票日に広報車を走らせる。	女	50歳代	喜入
やはりテレビ等で各政党の活動の在り方等の紹介など。	男	70歳以上	中央
家族や友達に選挙に行こうと呼びかける。若年層が政治に興味を持てるような報道、分かりやすい説明等をする。	女	29歳以下	伊敷
学生が投票しやすいように、大学で演説する	女	40歳代	中央
期日前投票については、色々な場所で投票できることや、買い物や仕事などの理由でも投票できることなど、知らなかったことがたくさんありました。もっと周知してもらえると、選挙当日の都合が悪い人も投票でき、投票率があがるのではないかと思います。	女	40歳代	中央
期日前投票のしやすさや、投票所が身近にあるということ、今まで以上に伝えるべきだと思う。有名人のCM起用や、啓発の動画などを見る機会が増えているので、とても努力されていると感じる。	男	30歳代	喜入

回答内容	性別	年代	地域
候補者同士が意見を交わすテレビ放映を積極的に取り組むこと。	男	60 歳代	中央
選挙に行って投票することで自分の住んでいる社会や地域に変化をもたらす可能性があるという事実を学校で教育したり、新聞やその他のメディアで報道したりすること。	男	29 歳以下	吉野
選挙に行って投票する事で何がどうなるのか分からないし、難しいイメージも強いので簡潔まとめた動画なりサイトなりあるといいと思います。	男	30 歳代	中央
選挙の際の候補者の公約が市民の皆さんのためにと同じように聞こえる。若者たちに今後何がメリットで何がデメリットかをもっと具体的な例をあげて説明すれば多少は選挙に興味を持つと思います。いつもそうされているかも知れませんが若者たちの耳には届いていない気がします。	女	60 歳代	中央
選挙の重要性をもっと伝えるべ	男	29 歳以下	中央
選挙の前に政治に関心があるかどうかだと思います。自分も若い頃は、内容も分からずままとりあえず、行って投票してました。大学生などは、実際に政治活動をしている議員さんと会ったり、語らう場があればもっと関心もわくのかと。	女	50 歳代	中央
選挙の日に行くのを忘れてしまうことがあるので、市民に選挙当日であると印象付けられるようにすればいいと思いました。例としては、選挙当日の日付を書いたポスターを貼ったり、広報カーを走らせたりなど。	男	29 歳以下	谷山
選挙は固いイメージがあるのでもう少し興味を持って貰えるような面白い内容で宣伝や教育をすれば自然と行くようになると思う。	男	30 歳代	伊敷
選挙権があることの大切さを、学校教育やマスメディアなどが普段から取り上げるようにする。また、投票所の数を増やして、出先などでも簡単に投票できるようにする。	男	30 歳代	谷山
大人がきちんと子どもに説明できるか。ただ投票率が上がれば地域は良くなるのか。子どもの投票率を促すには、まずは大人が関心をもち、何のために必要かを子どもに理解してもらう。そのための投票に行こうのキャンペーンなら良いと思います。	女	30 歳代	中央
中学、高校、大学、もしくは成人式等で、選挙について、興味を持ってもらえるように、講演会をする！	女	50 歳代	中央
投票に行くのが面倒、もしくは行く必要があるという認識すらないところに対する言い訳？として、誰に入れていいかわからない、誰に入れても同じ、興味が無い等の意見になると思う。(自民と共産党が同じとはとても思えない…)投票率が高い高齢者のために予算を使う政治家が多くなるのは当然であり、例えば、子育て中の 30 歳男性が投票に来た。という事実を残すためだけに、白票でいいので投票所に足を伸ばす意味がある、といった考えを報道してみたいか。	男	30 歳代	松元

#### ・候補者に関する周知・啓発

回答内容	性別	年代	地域
選挙で誰に入れたらいいのか分からないので、テレビなどでわかりやすく公約をまとめてもらいたい。	女	29 歳以下	中央
選挙前は色々な公約をするが具体性がなくおおまか当選してからは公約の過程、結果が表にみえてこない。活動がみえてこない。(こういう事をしています)	男	60 歳代	伊敷

回答内容	性別	年代	地域
もっと選挙の重要性を市民に認識させる活動をあらゆる媒体を通じて訴えることが重だと思ふ議員にあるまじき行為をして新聞をにぎわす人もいますが、これも国民や市民が選んだ人であることを忘れないようにする。だから投票するときは政党等ばかりにとらわれず人格をもっと認識するようにあらゆる情報を得て投票するべきであるとともに、選挙することで私たちの町が繁栄するがそうでないかを認識させる活動を広げることで投票率もあがるのではないかと思います。	女	70歳以上	伊敷
各候補者及び政党の主張や、当選したらやりたいことをより詳しく紹介してほしいです。そうすれば、誰に投票すべきかが分からずに投票しないという事態が避けられることに繋がると考えます。	男	30歳代	中央
関心を抱けるような候補者の出現。誰がなっても変わらないのではないかという思いがある有権者も多数いると思います。その為、実際に選挙で当選した方々の任期期間の具体的な活動内容や収支報告などの透明化を知れる機会が増え、より身近な環境に政治があることが必要なのではないかと思います。	男	30歳代	中央
現在は投票した候補者や政党が自分にとってどう関わっているのかが、ほとんどフィードバックされていないので、「誰に投票してもいっしょ？もしくは投票してもなんら変わることはない」などマイナス面につながっていると思います。自分が投票した候補者もしくは政党が選挙後にどのようなことを成し得たのか？自分の生活にどのようにかかわっているのかを各候補者や政党の詳細活動をもっと知ることができれば投票に行くようになるのではないのでしょうか？	男	60歳代	吉野
候補者の政策をどこから情報収集したらよいかわからない。政策など何もわからないまま投票する意味はないと考えるため、選挙に行ったことがない。	女	29歳以下	中央
政治に無関心であったり、誰に投票しても変わらないという無力感、などといったものが大きな原因だと思います。政治家の皆さんが主張する政策はもちろんです、その政治家がどんな実績を残したのか、どれほどの熱意を持っているのか、投票をする上での判断材料が少ないまたは伝わりにくいと思われまます。制度的なものはすぐには変えられませんが、情報媒体は多数ありますので、フル活用して政治に関心を持てるような取り組みを期待します。	男	30歳代	中央
選挙に興味を持ってもらうことが一番だと思うが、具体的対策は思いつかない。ただ、候補者の掲げた公約が守られていることや実績をもっとアンサーバックすることで投票が無駄でないこと＝投票の必要性、興味に繋がるのではと考える。	男	30歳代	谷山

#### ・その他政治に関する周知・啓発

回答内容	性別	年代	地域
テレビや、インターネットでの活動や、主張をもっと発信してみては？あと、何か社会活動で変わったことをわかりやすく伝える	男	50歳代	吉田
具体的に自分達の生活にどのような影響がある等が実感しにくいので、そこが目に見えて分かれば、投票率が上がるのではないかと思います。	男	30歳代	松元
個々に関心を持たせること。	男	50歳代	郡山
支持政党や選挙等の話はタブー視されているところがあるのでは、社会全体としてオープンに自己表現が出来るように、メディアや教育現場や地域で発信していった方が良いと思う。	男	60歳代	中央
自分たちとどのような関係があるのか、もっと分かりやすく解説するなど、これからの自分たちの生活していく未来についての話を現実的に解説するなどしたら、もっとしっかりと考えるようになると思います。	女	29歳以下	谷山
興味を持つ。票を入れたら変わる事を知る。	女	40歳代	谷山

回答内容	性別	年代	地域
自分たちの将来に関係する意識を身に着けてるよう、いろいろな手段で訴える。	男	50歳代	吉野
小学生でも分かるような政治のしくみを楽しく学びたい。興味があっても難しく、ちゃんと理解できない。	女	30歳代	松元
情報量の選択というか。詳しく見たい人にはたくさん情報は嬉しいが、よくわからない人には多すぎる情報は混乱とめんどろくに繋がる。	男	29歳以下	中央
政治の話をするのをタブー視しない。	男	30歳代	伊敷

## ・投票所の拡充等

回答内容	性別	年代	地域
10～30代の投票率が低いので、若者が集まる鹿児島中央駅や天文館などで投票所を設けてみるのも効果があると思います。	男	70歳以上	伊敷
もっと行きやすくすること。	女	50歳代	桜島
学生は期日前投票など積極的に行けるようにする。各学校で投票できるなどできたらいい。	女	40歳代	伊敷
期日前投票はとても助かりますが、場所を学校とかではなく、アミュとか天文館とか若い世代が集まる場所でもらえば、目に付くと思います。イオンで期日前投票しましたが、もっとここで投票してますよ！っていうアピールがないと場所がわかりづらかったです。	女	29歳以下	中央
期日前投票も20時までであり、深夜までしていただくとありがたい。勤務時間の関係で投票に行きたくても行けない。	男	30歳代	桜島
住んでいる校区の投票所での投票だけではなく出先でも何処でも投票できるシステム作り。	女	50歳代	中央
随分いろんなところで投票できるようになってるのでありがたいです。できるだけ子供達にも投票するよう話してます。	女	50歳代	吉野
投票という行動がもっと身近であったらと思います。以前に比べて、期日前投票がいろいろな場所で出来るようになり、投票しやすくなったとは思いますが、商業施設や大学の投票所がもう少し日にちがあればと思います。	女	50歳代	中央
投票会場の堅苦しい雰囲気から変えるべきだと思います。何度も、あっちに行ってください。今度は、こっちに行ってください。とか、不正がないか何人もの方が無言で見つめられる雰囲気が嫌で、商業施設で期日前投票することにしました。まだ、少しは、気軽に投票できます。なので、楽しく投票できるように記念日もあげるとか。	女	50歳代	谷山
投票所に係の人が必要以上にいるし、堅苦しく思えるから足が遠のく気がします。	女	50歳代	中央
投票場所が密になるのが嫌。広い場所でやって欲しい。駐車場が狭いと大変。	女	30歳代	谷山
当日の投票が決められた場所のみというのはネックになっていると思う。出かけた場所で手軽に投票できれば便利。	女	50歳代	伊敷
選挙区内で使える商品券配布。	男	40歳代	松元
投票した時の特典を充実させる。	男	30歳代	伊敷
投票しなかった場合の罰則を設ける。	男	30歳代	伊敷
投票することで何かのインセンティブがあれば、投票するかもしれない。投票場所が、当日でも選べたらいいかもしれない。	女	40歳代	吉野
投票に行ったらポイントを贈呈	女	40歳代	谷山
投票に行ったら飲食店の割引や親子で言ったら鉛筆一本子供にプレゼントなどの特典を付ける。またゲームとのコラボし、ガチャアイテムなどが投票所でゲットできる特典を付けるなどにする。	女	30歳代	谷山

回答内容	性別	年代	地域
投票行った証明で県内のお店割引になるシステム。ぐりーぶクーポンみたいな。	女	40歳代	中央
投票所で投票後、食事券等を配布する。投票しなかった場合の最大限のデメリットを広報する。	女	30歳代	喜入
投票所に来た人に割引券を発行する。	女	50歳代	伊敷
無理だと思うが、選挙にとにかく足を運ばせる何か（利益、目的）がないと興味ない若者はいかない。	男	40歳代	伊敷
罰則。	男	40歳代	伊敷

## 政治家の質の向上

回答内容	性別	年代	地域
「あいさつ」のできる子どもに育てるよう、親がしっかり教える。会釈する大人の姿が見られる町を増やす。取りこぼし、落ちこぼれ無い仕組み増やす。思いやりのある社会、信頼できる国をめざす。政治家は金儲けの手段ではない。お金が無くても議員になれる仕組みを作る。無給でも働く議員のいる国もある。まず議員が尊敬される存在となって欲しい。あと何回選挙が必要でしょうか？	女	70歳以上	中央
議員活動が family business のようになっている現在、若者に興味を持って投票するように伝えても、投票行動につながらないのは理解できるような気がします。	男	60歳代	中央
候補者の若返りで若い世代が選挙に興味を持たないだろうか。	女	50歳代	吉野
国民が投票離れしているのは、政治家への不信と諦めだと思う。場当たりの政治が多い。街中のアンケートに答えいている人たちの方がよっぽど政治家らしいコメントをしていると感じる。国民のことを本当に考えているのだろうか？？不信感しかない。政治家は結果を出さなきゃ国民から批判の矢面に立たされるから大変なこともわかるけど、国民にとって分かりやすい政策すら出すことも出来ない。保身にまわってばかりで、本当の政治家がいない。選挙はネットからでいいと思う。	女	60歳代	中央
政治家の仕事がよく分かるようなものがあれば良いかと思います。子供のなりたい職業ランキングに「政治家」が入るようになれば若年層の投票率も上がるのではないかと考えます。	男	40歳代	吉野
政治、政治家への不信感を払拭する手立てが必要。	男	29歳以下	中央
政治家に対するクリーンなイメージが低く、政治についても他人事な感じがするので、これらを払拭するような取り組みが大事なのではないでしょうか？具体的にどのような仕事をしているのかわからない。お金や給料についても国民が納得できるものではない。	女	40歳代	谷山
世襲が多く、その人物が本当に国民の為になる政治家なのか不透明である。その為、新人若者の立候補が育ちにくい。	女	70歳以上	谷山
選挙カーが煩いことや投票依頼の電話など、選挙の時に活発化することは、「その時だけ」の感覚があり好ましくないと思う。政治家が普段どこで何をしているのか知らない人も多く関わりが少ない。	男	30歳代	桜島
何故、投票率が上がり下がりばかりかは理由は簡単です。政治と現場の温度差が激しすぎるからであり投票率を上げたいならもっと現場主義で政治に反映させる事が非常に大事である事を行政と政治家が真摯に取り組みそれを政治に組み込んで実行し且つ行政に活かして民間のレベルに近づけていかねばならない。	男	50歳代	中央
人を惹きつける政治家が出てこない。	男	70歳以上	中央

・選挙制度の改正

回答内容	性別	年代	地域
高齢者は良い考えを持ち政治にも詳しい?しかし投票所まで出掛ける手段がなく行けてない、交通面自宅訪問はとても難しいと思う。そのような人たちに意見を聞くこと出来ないか?学生は学校、仕事をしている人は職場などに投票箱とかは難しいことなのではないでしょうか?責任者が必要です。	女	60歳代	吉野
大学生などが住民票を移さず、転居するケースにおいて、住民票を移さないから投票できなくて当たり前と言う考えを脱却して、現住地における選挙に参加できる仕組みを国がそろそろ真剣に考えるべきと思います。	男	60歳代	吉野
不正選挙がまかり通っているし、投票したい人もいないので、一度選挙の仕組みそのものを壊す。	女	30歳代	吉田
郵便局を利用しポスト投函できるといい。投票用紙が配られるなど匿名にする必要はないと思う。	女	29歳以下	谷山
立候補者の年金制限70才以上の排除等、若者の参画。	男	60歳代	伊敷
立候補する条件を緩和(25→20歳に)する。供託金を引き下げる(現行の半額にする)。	男	30歳代	伊敷
私自身も、20年ほど前の国政選挙での投票で、投票終了後に投票済証を選挙管理委員会(当時は愛知県)から受け取り、職場の上司(←労働組合の支部の委員)に提出した記憶がありました。ここ最近では、ペーパーレスが普及し始め、アプリのQRコードでの読み込みの方が最善策だと思います。	男	40歳代	谷山

・その他意見

回答内容	性別	年代	地域
20代の時に、会社の先輩に選挙に行かない人は政治を語るなど言われて、それが悔しくてそれ以降は全て投票に行っています。個人の意識の問題だと思いますが、家族や会社の上司など選挙に行くように声を掛ける。	女	40歳代	谷山
いつも政治家は綺麗事と口先だけだから、公正公平なルールと成果主義。	女	30歳代	吉田
家族で声かけあって一緒に投票に行く。	女	70歳以上	吉田
学校、職場などの基本的人権について民主主義について人としての責任権利義務化について努める事。	男	70歳以上	谷山
給付金のように規則を設けて拒まない以上参加する。義務化する。	男	70歳以上	喜入
クリーンな政治ができれば、投票率が上がるのではないのでしょうか?	女	50歳代	伊敷
選挙日の立会人が町内会から数名出られるが、年配者が多いと思う。若い人(10代~20代)にお願いしてみてもどうだろうか。たとえばバイト感覚であったとしても得るものがあるのではないだろうか。	—	—	—
都合をつけて立候補者に実際に会いに行く。	男	30歳代	伊敷
海外の若者は選挙に関してすごく積極的なので、外国を参考にしてみてもいい。海外の若者の政治に対する意見を学校で学んでみる。	女	40歳代	中央
自分が投票することによって、有益な変化を感じる経験があったりするというのは、と思います。	女	30歳代	吉田
自分の年代(20代)向けの政策がないと興味がわからないので、関心を持てるような政策があればいいと思う。	女	29歳以下	伊敷
自分自身もですが、選挙に興味を持ってない1番の理由は魅力的な政党又は候補者がいないことだと思います。結局誰が勝っても同じ、という印象があります。まずはこういった印象をなくすためにどうするか、を関係者の方に議論してほしい。	女	40歳代	中央

回答内容	性別	年代	地域
自分達の町を身近に感じさせる自治体になって欲しい。地方が独自の判断で物事を進められれば、住民の関心も高まると思います。	男	60歳代	伊敷
若者たちが行きたくなるようなルールを追加したらいいと思います。	男	29歳以下	喜入
政治に興味を持てるような環境	女	50歳代	谷山
政治への関心を高める必要があるというものの、SNSなどのように自分に都合の良い情報しか収集しようしない風潮が蔓延しています。議論の風潮があまりなかった我が国の教育制度化において議論は非常に難しい。全般的に、生活苦に関心が低く政治への関心が無くなり、このことが我が国政党政治と官僚制度を崩壊の道へ向かわせつつあるという危機感も持っています。	男	60歳代	中央
政党の選挙制度の取り組みが投票率がアップすると思います。	男	40歳代	中央
選挙によって世の中が変われるという実感	男	50歳代	中央
選挙に行かない人を無理に行かす必要はないと思う。いい加減な気持ちで選んだ結果で政治が左右されても困る。選挙に行くからにはそれ相当の知識を持って信念を持った人が投票すべきでは。ただ単に投票率をあげるためだけの政策はかえって国、地域のためにはならないと思う。	男	70歳以上	吉野
選挙の広報活動に若者を参加させる	男	60歳代	中央
本来、民主主義は直接民主制であるべきですが、歴史の過程において代議制がとられているのが現在です。選挙は、代議士を選ぶのみならず、市民の利害に重要な影響を及ぼすものについて行うべきだと思います。例えば、サッカー場設置など市民の中で様々な意見があると思いますので、市議会での議論のみならず、直接民意を問う場面もあるのではないかと考えます。	男	50歳代	中央

・その他

回答内容	性別	年代	地域
思い浮かびません	女	50歳代	吉田
特になし	女	40歳代	伊敷
特になし	女	29歳以下	谷山
特になし	男	60歳代	中央
特になし	女	30歳代	吉野
思い浮かびません	女	50歳代	吉田
特になし	女	40歳代	伊敷
特になし	女	29歳以下	谷山
特になし	男	60歳代	中央
特になし	女	30歳代	吉野
わからない	女	30歳代	中央
わかりません。	女	40歳代	谷山